



# 南桜風

鹿児島大学工学部同窓会会報



第18号



令和3年2月10日発行

## ごあいさつ

同窓会会長 松 永 洋 文	2
工学部長 木 下 英 二	3
OBより 後 藤 友 紀	4

## 各プログラム・専攻の状況

機械工学プログラム	5
電気電子工学プログラム	5
海洋土木工学プログラム	6
化学工学プログラム	7
化学生命工学プログラム	8
情報・生体工学プログラム	9
建築学プログラム	10

## 在学生から

在学生 安 倍 嵩 士	11
在学生 山 本 巧	12
在学生 昌 本 拓 也	13
留学生 燕 志 豪	14

## 教員の異動

	15
--	----

## 部会だより

機友会	16
錦水会	22
AOI会	29
南窓舎密会	35
しらなみ会	42

## 稲盛賞・学部長賞他

岸園賞	51
-----	----

## 進路状況

	52
--	----

## 工学部同窓会役員・

部会各支部役員名簿	58
-----------	----

## 本部だより

	60
--	----

## 工学部同窓会諸活動支援報告

	74
--	----

## 工学部同窓会学生諸活動助成報告

	77
--	----

## 工学部体育祭

	80
--	----

## 会則

	81
--	----

## 編集後記

	83
--	----

## 広告掲載

	84
--	----

## 工学部創立75周年記念式典・講演会のご案内

拝啓 同窓会員の皆様におかれましては、時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。工学部は2020年4月に創立75周年を迎えており、その記念事業の準備を粛々と進めてまいりました。その締めくくりとして、2021年4月24日（土）に稲盛会館にて記念講演会、城山ホテルにて記念式典・祝賀会を開催する予定としておりましたが、折からの新型コロナウイルス感染症拡大のため、やむを得ず祝賀会を取りやめ、同日、稲盛会館にて記念式典を執り行った後、記念講演会を開催する予定で準備を進めております。

稲盛会館大ホールの参加人数を制限し、オンライン配信とのハイブリッド形式で行う予定です。記念式典では、各式辞のほか、50周年以降のキャンパスの変遷や本事業の募金に関わる銘板の紹介も行います。また、記念講演会では、2名の外部有識者による基調講演および2名の工学部教員による研究紹介を予定しております。

この新型コロナウイルス禍のなかにおきましても、明るい未来が期待できるような記念式典・講演会にすべく準備を進めておりますので、同窓会員の皆様におかれましては、ぜひともオンライン等でご参加いただければ幸いです。どうぞ宜しくお願い申し上げます。

敬具

令和2年12月吉日

実行委員会 記念式典小委員会委員長 門川 淳一  
 実行委員会 講演会小委員会委員長 金子 芳郎  
 実行委員会 委員長 渡邊 睦

※記念式典・記念講演会については、工学部ホームページにてお知らせいたします。

工学部ホームページ: <https://www.eng.kagoshima-u.ac.jp/>

## 鹿児島大学工学部創立75周年記念事業への協力をお願い — 期成会より —

工学部同窓会は創立75周年を迎える工学部と連携し、記念事業推進を図るべく各部長、部会支部長、部会選出事務局員で構成する“期成会”を立ち上げ寄附活動の支援を行ってきております。令和元年8月には会員の皆様へ、続く11月には法人様への「協力をお願い」 「趣意書」を発送し、既に多くの方々、企業様より浄財が寄せられ、現在1,500万円余に至っております。心より御礼申し上げます。

一方、今般の新型コロナウイルス感染症及び拠金額不足により、事業の縮小・変更を余儀なくされる事態に直面しております。研究・教育活動を通じて社会に貢献する工学部であり続けることが、我々同窓生の希望・誇りでもあります。

つきましては、現在大変厳しい社会情勢の中ではございますが、諸記念事業、中でも主要事業の「工学研究・海外派遣等助成制度」の趣旨にご理解、ご賛同をいただきまして、格別のご厚誼、ご支援を賜りますよう改めてお願い申し上げます。

ご寄附（3万円以上）いただいた皆様のお名前は銘板とし工学部共通棟に掲示しております（右下写真）。また、工学部HPには感謝の意を表し、寄附者名簿一覧を掲載しております（注1）。

なお、既に拠金いただきました方からの重ねてのご寄附もお願いいたします。皆様方からの寄附金受入は**令和3年6月30日まで**といたしましたので、引き続きのご支援を何卒よろしくお願い申し上げます。

\*注1：掲載可の方のみ



ご寄附者ご芳名 銘板

詳細はこちらをご覧ください。

鹿児島大学工学部創立第75周年記念事業への協力をお願い

<https://www.eng.kagoshima-u.ac.jp/other/75memorial/>

Webサイトから、ご寄附のお申し込み手続きも可能です。

寄附の項目：⑨鹿児島大学工学部創立75周年記念事業基金（特定資金）



QRコード

寄附受け入れに関するお問い合わせ先

〒890-8580 鹿児島市郡元1丁目21-40

国立大学法人鹿児島大学

理工学研究科等研究科・工学系総務課会計係

75周年記念事業寄附担当 宛

TEL：099-285-7701・8220

FAX：099-285-8225

E-MAIL：ekaikei@kuas.kagoshima-u.ac.jp



## 御礼と感謝

松永 洋文

工学部同窓会会長（海士2）

### 同窓会本部での6年間

工学部同窓会会長の任期は3年、慣例の2期6年を努めてまいりました。構成5部会の中で最も小さな“しらなみ会”からは初めての推薦で会長を拝命しました。

この間、本部運営にはしらなみ会は勿論のこと、「機友会」「錦水会」「AOI会」「南窓舎密会」の本部役員、部会の役員・幹事の皆様のご支援・ご協力をいただきました。御礼を申し上げます。

工学部同窓会として基本の“事業計画の立案・実施”“予算・決算”は粛々と進めることができ、毎年の会報発行、名簿の編集・発行もできました。

岩崎基金は、要請のあった『鹿児島大学進取の基金』への寄附と『鹿児島大学工学部創立75周年事業の活動資金』に活用されております。岸園基金はご厚意による増額の充実が図られ『岸園賞表彰による会員業績の顕彰』や工学部内の学科横断的な活動への支援など活用範囲を広げております。

本会には、同窓生の「同窓会若しくは工学部への顕著な貢献」を評価する制度がありません。今回、「名誉会員」と並び称される同窓生の貢献を顕彰する「荣誉会員」の名称を設け、稲盛会員（名誉教授、稲盛会館 外）、岸園元同窓会会長（岸園基金）の推薦を検討しております。

### 同窓会への思い

海洋土木の一期生（S48入）で卒業後鹿児島在住として“しらなみ会”発足に関与し、初代の暫定会長を務めました。当然工学部同窓会の中では若輩で弱小の会長として先輩の部会から温かい指導と支援をいただきました。心から感謝しております。今回の工学部同窓会会長への就任については、お世話になった部会へ何かの恩返しのできればとの思いからお引き受けし務めたつもりです。

しかしながら、様々な活動での同窓生どうしの「何処に誰が居て何が聞ける」という働くなか大いに頼れる同窓会でのつながりが希薄になっている。同窓会活動が沈滞しているのではないか。と思いつつ残念ながら活性化には力足らずでした。

### 工学部への思い “75周年事業期成会会長を務めて”

会長の任期中に「工学部創立75周年」を迎え、記念事業が行われるであろうことは承知しておりました。会長として如何に動くか、手さぐりの状態での出発でした。同窓会は事業のための募金活動で支援することとなり、工学部や事業委員会と協議しつつ期成会を組織し募金のための趣意書等の準備を進め、皆様に拠金のお願い文を送りました。

あたたかい浄財が寄せられてはいますが、ほとんど目標額に届きそうにありません。母校「鹿児島大学工学部」へ多勢の会員の思いを奨学金寄付という行動で支援いただきたい。

工学部では同窓生の教員も多数勤務され、研究はもちろんのこと、後輩学生の教育・指導にも熱く取り組んでおられます。そのうえで同窓会活動も支えていただいております。同窓会はもっと工学部を、工学部で活躍されている同窓生を応援すべきです。拠金のご協力を重ねてお願いします。

### おわりに

工学部も学科変更が行われ生まれ変わっております。さいわいに同窓会の部会構成に大きな影響は生じないようなので安堵しています。

工学部同窓会本部の役員、部会の役員・幹事の皆様は多くが工学部の教員として活躍の卒業生が務められております。私は、学外の者として先生方に貴重な時間を割いていただくのは恐縮で・申し訳なく・有難いと6年間感謝に堪えませんでした。

ぜひ卒業生におかれましては「同窓会への、工学部への思い」、「先輩への、後輩への思い」を高く感じていただき、これまで以上のご支援・ご協力を賜りますようお願いして任を辞させていただきます。

工学部は本年度創立75周年を迎えました。創立以来、工学部は発展し続けておりますが、これは多くの先人（卒業生・教職員など）の長きに渡る尽力の成果と存じます。来年4月には75周年記念事業を行います。100周年への懸け橋、次の25年の間に工学部がさらに発展するための旗揚げ会と位置付けております。新型コロナウイルス感染症拡大抑制の観点から、残念ながら祝賀会を中止しますが、記念式典・講演会などの主要な事業は、工学部同窓会と一致協力して、必ず成功させたいと思っております。

グローバル化、少子化が進み、第4次産業革命やSociety5.0といった産業・社会構造が急速に変革しており、各大学には強み・特色を生かした改革が求められているなかで、工学部と理工学研究科はイノベーション人材の育成を強化するため、本年4月に改組を行いました。工学部は、旧7学科から先進工学科と建築学科の2学科へ移行しました。学科間の壁を壊し、イノベーションを起こすために必要な融合分野の教育研究を行うというのが目的であり、旧7学科は7プログラムという形で名前も含め実質的に継承・発展できる形をとっております。理工学研究科の方は、博士前期課程を改組し、工学系では旧6専攻から1専攻（工学専攻）7プログラムへ移行し、学部と同じ学位プログラム数にしています。学士・修士一貫教育、いわゆる6年一貫教育の導入を行うとともに、周辺分野の学修による幅広い視野から物事を考える力を身に付けさせるための実践的な教育を行います。具体的には長期研究インターンシップ、海外研修、学会発表などを単位化しています。工学部はこれまで築いてきた教育研究の優れた特徴を守りながら、時代の変化に即応するために、今後とも継続的に改革を行い、地域及び国際社会に貢献できる学部を目指します。

これまで、卒業生の皆様には寄附金を含め、多くのご支援・ご協力を頂きました。心からお礼申し上げます。現在、プログラム毎ではありますが、学生のキャリア教育の一環として卒業生による講演等を行って頂いています。卒業生の活躍や経験談を学生へ紹介することは、学生にやる気を起こさせ、夢を与えたいと思います。第一線で活躍されている卒業生だけでなく、直近の卒業生、定年退職された卒業生のお話、成功体験だけでなく、失敗談、失敗からどのように成功へ結びつけたかのお話は大変貴重なものです。工学部同窓会は卒業生と教員・学生とを繋ぐ窓口です。卒業生の皆様には、今後とも変わらぬご支援・ご協力をお願い致します。

最後になりましたが、卒業生の皆様のご健康とご多幸、工学部同窓会の益々のご発展をお祈り申し上げます。



## 工学部創立75周年を迎えて

工学部長

木下 英二



## 後輩の皆様へ

後藤 友紀

鹿兒島大学大学院理工学研究科建築学専攻  
2003年修了  
海外在住、設計事務所勤務

工学部同窓会の皆様におかれましては、コロナ禍にあって、ご苦勞はいかほどかと拝察致します。この度ご縁あって同窓会会報の依頼を受けるにあたり、「若手で海外で活躍している女性に、ぜひ後輩達に送るメッセージを」と有難い機会を頂きました。

私は現在海外で建築士として働いており、自分の経験が誰かのお役に立てればと引き受けました。「女性であるから」という訳ではなく、私一人の経験として寄稿いたします。

私は鹿兒島大学、大学院と進み、2003年に修了致しました。私が現在海外で職を得ることが出来たのは元鹿兒島大建築学科松永安光教授を始め、友人、出会った方々の多大なる助力と助言のおかげであり、感謝の言葉では言い尽くせません。しかしながら、今日まで継続して滞在できている理由は、自分の努力と図太い神経（程よい無神経さ）或いは、運の良さもあっての事だと思います。また、今後は諸先輩方から得たアドバイスを後輩に受け渡していきたいと思っています。私が海外を目指したきっかけは、大学院の修士論文でイギリスの都市計画について調査する為、教授と研究室の後輩とともに行った調査旅行でした。その際に受けた感銘や経験から、海外に対する興味関心を持つ事になりました。そして、自分の好奇心を抑える事ができず、勤めていた企業を辞め、ヨーロッパをバックパッカーとして半年間、放浪旅行し見聞を深め、より海外で活躍したいと強く思い決断行動しました。

さて、海外で働くに当たって、何が必要かと問われるなら「強靱な精神力」だと思います。度胸と決断力、チャレンジ精神等です。もちろん最初から備わっている必要はありませんし、徐々に鍛えられて身に付く物だと思います。実際、海外では苦勞や挫折もありましたが、ここでは一人です。自分で立ち直る事を学ぶしかありません。実務的な事では、学生時代に学んだCAD図面や3Dの作成、プレゼンテーションの技能は大変役に立ちました。建築の基本的な実務は英語であろうと日本語であろうと同じです。海外で働くと考えたら、真っ先に英語が出来ないから無理と言う方も多いと思います。私は学生時代、英語は不得意で、今でも英語にはとても苦勞させられています。しかし諦めず、根気よく努力と継続する事が大切だと思います。もちろん文化や環境も、仕事への取り組み方や働き方は全く違い、戸惑う事も多いです。しかし海外の建築家も建築学科の学生も同じ様に設計の基礎や近代建築を学んできており、世界共通、皆「建築が大好き」だと、こちらで働いて気付きました。ですから後輩の皆様にも怖がらず海外で働く事にチャレンジしてもらいたいと思います。

最後になりますが、このような状況の中、一日も早く平穏な日々が戻りますよう、また皆様のご健康を心よりお祈り申し上げます。

# 各プログラム・専攻の状況

## 機械工学プログラム

プログラム長 余 永

令和2年度から、昨年度までの学部機械工学科と大学院機械工学専攻をそれぞれ学部先進工学科機械工学プログラムと大学院工学専攻機械プログラムに変更しました。今年度の機械工学プログラムの近況について、ご報告いたします。現在の学部の学学生在籍数は、令和2年11月1日現在で、学部1年生99名、2年生108名、3年生114名、4年生89名の合計410名です(内留学生7名、女子学生24名)。大学院の学学生在籍数は、博士前期課程が108名で、博士後期課程が2名となっています。

現在の教員数は22名(教授10名、准教授8名、助教4名)です。分野別では、生産工学分野が7名、エネルギー工学分野が6名、機械システム分野が9名となっています。

教員の学内活動としては、木下英二教授が学部長として、池田徹教授が学部入試委員長として活躍されています。研究活動としては、小金丸正明准教授、池田徹教授がエレクトロニクス実装学会において「論文賞」を受賞しました。また、片野田教授が設立した鹿児島ハイブリッドロケット研究会が、小型ロケットの打上げなど続けて活躍しています。競争的研究資金獲得状況は、今年度科学研究費補助金の新規採用が4件、継続採用などのその他が9件でした。

学生の動向としては、余研究室の学生は第20回計測自動制御学会システムインテグレーション部門講演会にて「優秀講演賞」を受賞しました。就職状況についてもコロナの中で、ほぼ100%の就職率を達成できる見込みです。

機械プログラムの今後の発展のためには、同窓会会員の皆様のお力添えが不可欠です。今後もご支援を賜りますようお願い申し上げます。

## 電気電子工学プログラム

プログラム長 西川 健二郎

工学部の改組により、令和2年度4月より工学部電気電子工学科は工学部先進工学科電気電子工学プログラムとなっております。同様に、大学院改組により、令和2年度4月より大学院理工学研究科電気電子工学専攻は大学院理工学研究科工学専攻電気電子工学プログラムとなっております。教員の所属は学術研究院理工学域工学系に所属し、上記組織において教育を主担当としています。令和2年4月時点での教員数は、22名であり、その内訳は教授8人、准教授9人、助教5人となっています。

本年度は新型コロナウイルスの影響により、遠隔講義が主となる教育環境となっておりますが、学生実験等電気電子工学において重要となる科目については感染予防を実施しつつ、可能な限り、対面で実施しております。

また、懸案となっております雷インパルス装置の改修も無事完了し、本年度より新しい装置が稼働し、学生の教育に使用できるようになっています。

JABEEに基づく工学教育の一環として、平成27年度に開始しました「カリキュラムに関する外部連携会議」において、今年度も「きばっと会」の日程に実施し、三菱重工業の中原氏から貴重な御意見、御感想をいただきました。

同窓会の方がたには、学生への教育研究支援事業である「新入生ウェルカムパーティー」、「きばっと会」などで多大なるご支援をいただいております。厚く御礼申し上げます。おかげをもちまして、今年度も所属学生の就職率100%を達成する見込みです。今後も社会に貢献できる人材を輩出すべく、教職員一丸となって努力してまいりますので、皆様には今後とも御支援、御協力、厳しい御意見をよろしくお願い申し上げます。

## 海洋土木工学プログラム

プログラム長 安達 貴浩

海洋土木工学プログラムの近況についてご報告いたします。まず、今年度より、工学部の改組に伴って、工学部・海洋土木工学科は、工学部・先進工学科・海洋土木工学プログラムへと組織変更いたしました。これに伴って、数理データサイエンス関連科目や、各プログラムの特徴を幅広く知ることのできる科目（「工学概論」）等、以前にはなかった新たな科目が開設されています。

ところで、昨年度末以降、コロナ禍の影響により、開催を予定していた卒業式・修了式、企業説明会いずれもが中止となりました。前期における授業については、一部の実験を除いて、基本的には、遠隔型の講義となりました。毎年、吹上浜で実施される恒例の海岸測量実習についても、今年度は、キャンパス周辺での実習となりました。この実習は、学生同士、また学生と教員のコミュニケーションを深める良い機会でもありますので、ぎりぎりまで実施の方向で検討を進めていましたが、結果的にこのような措置を取らざるを得ませんでした。このように講義形態に大きな変更があったため、学生だけでなく、教員も少なからず戸惑いがありましたが、各先生方と学生の尽力と工夫で、何とか所定のレベルの教育を維持できたのではないかと考えています。

なお、既にご存じの方も多いと思いますが、平成30年6月に、海洋土木工学科棟の改修が完了しました。改修後、建物がきれいになっただけでなく、コミュニケーションスペー

スとして、1階玄関のカウンター等の設備を新たに設けていますので、卒業生の方々も、お気軽にお立ち寄りいただければと思います。現在、このスペースで、企業紹介ビデオの上映や、企業バナーの掲載（予定）を行っておりますので、ご興味がありましたら、就職担当の教員にご相談下さい。

大学を取り巻く環境が大きく変わる中、これまでと同様に、有能な土木技術者と価値ある研究成果を輩出していく所存ですので、卒業生の皆様には、今後も変わらぬご支援をよろしくお願いいたします。

## 化学工学プログラム（旧 環境化学プロセス工学科）プログラム長 吉田 昌弘

今年度の改組により環境化学プロセス工学科は化学工学プログラムへと名称が変更になりました。これまで通り、学部学生35名（入学定員）を専任教員9名（教授4名、准教授2名、助教3名）で小人数教育を行っております。また、令和2年度中にこれまでの旧研究室制度を見直し、R3年度から9研究室体制とすることを決めました。但し、各教員は話し合いにより研究グループを組み、配属された学生の教育研究を実施することになっております。また、教員の動向としては、令和2年度4月に武井 孝行先生が准教授から教授に昇進されました。

### ・旧輸送現象講座、旧単位操作講座

二井 晋（教授）研究室、水田 敬（助教）研究室、五島 崇（助教）研究室

### ・旧工業物理化学講座

吉田 昌弘（教授）研究室、武井 孝行（教授）研究室

### ・旧反応工学講座

甲斐 敬美（教授）研究室、中里 勉（准教授）研究室

### ・旧無機材料化学講座

鮫島 宗一郎（准教授）研究室、下之蘭 太郎（助教）研究室

本プログラムは、教育の成果を判断するためには、学生自身が資格試験を受け取得できる教育システムを新たに導入する方が定量評価できると考えております。そこで、公益社団法人 化学工学会が行っている資格制度である「化学工学技士（基礎）」の資格を取得できるような教育プログラムを導入致しました。学部3年生以上には当該資格試験の受験を必修としており、合格できない場合は卒業までに当該資格取得を目指しております。令和

2年度は9月末に当該資格試験を実施予定でしたが、コロナ渦で残念ながら試験中止となりました。次年度開催される試験では、受験学生全員が本資格を取得し、卒業できることを目標に教員一同頑張っております。

小人数プログラムであるために学生に対して丁寧な指導ができますが、教員の研究に費やす時間は厳しい状況にあります。その限られた時間の中でも数多くの国内外の学会発表、学術雑誌への発表、外部資金の獲得に務めております。今年度は、コロナ渦で学会開催も制限されており、院生の学外発表も極端に少なく、学生表彰はゼロ件という残念な結果に終わっております。

化学工学を学んだ学生に対する企業の求人倍率は、約5倍を維持しており、好景気や不況の波に影響することなく多い状況です。これも卒業生の皆様が各企業であげられた実績によるものであると感謝しております。南九州の地域産業や全国の企業とも連携した研究を介して、今後も化学産業の発展のため貢献していきたいと思っております。日本の将来を担う若者を十分に教育して社会に送り出していきますので、卒業生の皆様にはこれまで同様にご支援を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

## 化学生命工学プログラム

プログラム長 石川 岳志

令和2年4月に工学部が7学科制から2学科制に改組されたことに伴い、化学生命工学科も先進工学科化学生命工学プログラムとして、新たなスタートを切ることとなりました。学部および大学院の定員に変更は無く、10月1日現在で、学部に209名、博士前期課程に54名、博士後期課程に3名の学生が在籍しております。また、令和2年3月末日をもって肥後盛秀教授がご退職され、同年2月21日に最終講義および退官記念祝賀会が開催されました。平日にもかかわらず多くの卒業生や関係者が集まり、肥後先生のお人柄を伺い知ることができました。JABEEプログラムの責任者を長く務めるなど、当プログラムの教育研究に多大なるご尽力を頂きましたこと、教員一同、深く感謝申し上げます。

新型コロナウイルスの感染拡大により、今年度前期の授業は実験も含めほぼ全てが遠隔で行われました。後期に入りようやく対面授業が再開されましたが、未だ三密回避の制限などが続いております。また、卒業式や入学式の中止、インターネットを利用した遠隔での大学院入試など、大学においてもコロナ禍の影響は大きく、以前の体制に戻るにはまだまだ時間が掛かるとおられます。このような状況の中、教授4名（石川、門川、隅田、橋本）、准教授6名（上田、金子、高梨、中島、山元、吉留）、助教4名（新地、橋口、満塩、若尾）の計14名の教員が、一丸となってプログラムの運営に努めて参ります。特に、当プログラ

ムの特徴である教員の多様な専門性を活かした質の高い教育カリキュラムの維持を第一と考え、様々な分野で活躍できる人材育成に全力を尽くしたいと考えております。卒業生の皆様にはこれまで同様ご支援を賜りますよう、どうぞ宜しくお願い申し上げます。

## 情報・生体工学プログラム

プログラム長 内山 博之

工学部情報生体システム工学科および理工学専攻情報生体システム工学専攻は、今年度からそれぞれ先進工学科情報・生体工学プログラムと工学専攻情報・生体工学プログラムとなった。今年度はその記念すべき改組1年目ではあったが、当プログラムも新型コロナウイルスの感染拡大によって多大な影響を受けた。感染拡大第一波の到来した昨年度3月には卒業式も中止となり、卒業生、修了生の門出を祝えなかった。前期は4月中旬に始まったが、基本的に全ての科目で遠隔授業となり、当初教員は不慣れな遠隔授業システムの対応やオンライン用の教材作成に追われた。特に、本来対面での実施を想定している実験、演習科目では、対応に苦慮した。苦労したのは教員だけではなく、学生、特に他県出身の新入生などは、初めて一人暮らしを始める時期に非常に心細い経験をすることになり、精神的に不安定になる学生もいた。当初はゼミなども遠隔での実施となったが、研究室での4年生、院生の研究活動は徐々に制限が緩和され、通常の研究活動に戻りつつあった。しかし11月に発生した学内クラスターによって学生の入構が制限され、再び学生の研究活動に支障が出た。大学院入試では、感染拡大防止の観点から初めてZoomを使った遠隔面接を行った。厳正な条件での実施が前提となる入試で間違いがあってはならず、入試委員を中心として予行演習を繰り返すなど入念な準備を行い特段の問題もなく実施できた。プログラム会議も4月当初からオンライン会議形式で実施している。改組とはなったが、教員団は前組織の教員団を引き継いでいる。昨年度末三嶋助教が広島市立大学に転出し、7月小野准教授が教授に昇任し、9月には朱准教授が渡米のため退職し、3月には大塚教授が定年退職の予定である。大学全体の人件費の削減計画もあって教員の欠員補充も容易ではない現状ではあるが、教授、准教授1名ずつの人事を来年度4月の着任を目指して開始した。

## 建築学プログラム

プログラム長 塩屋 晋一

教員構成は、昨年と同様、変化ありませんでした。教授6名、准教授5名、助教3名です。約15年前は、教授6名、准教授6名、助手6名でした。現在は、授業の休講もできず、半期、15回は必ず授業はしないとイケない。成績評価の証拠も残さないとイケない。学科の教育の外部評価もある。学科への予算も激減。外部資金を確保する努力もしないとイケない。かなり厳しい環境になっています。

しかし、これは、必然であろうと考えています。元々、日本の地方の国立大学が設置された状況は、既に無くなっています。各県に全ての学科を揃えた国立法人大学の必然性はもうありません。特色の無い学科は整理・統合される可能性が高いとみています。

本学科は、今回の改組でも、幸運にも建築学科として、その学科名を残すことができました。関西から南の国立法人大学では、4校だけになっています。本学科が残れたのは、これまでの先生方が築き上げられた教育課程と卒業生の活躍が源になっています。これが高い入試倍率につながり、その倍率が建築学科として残れる理由になりました。

学科の特徴は、教育カリキュラムと教員および学生です。これらをバランスよく管理しながら、更に充実させる努力を続けることが重要になります。その成果は、卒業生の本学科の教育への満足度に繋がります。学科や授業の評価は、本来は、卒業後10年ほど経って、卒業生がどう感じるかだと思います。高い評価の事項は更に継続して発展させ、悪い評価の事項は、改善または廃止をしていくことが重要です。このためには、卒業生からの評価が必要です。AOI会の総会や懇親会または行事に参加され際には、意見を出していただき、参加している教員や、本学科の教員に伝えていただければと思います。学科のホームページには、卒業生が書き込めるサイトがありますので、ご連絡いただければと思います。

現在の学科の教育の状況は容易に察することができると思いますが、コロナ禍で、製図室も学生に十分に解放できない状況です。学生達には、これも生まれる時に決まっていた運命と解釈して、たくましく成長して欲しいと伝えております。

教員の移動もなく、あと書くのはコロナことぐらいで気が重かったです。私見も交えて、学科の位置づけと学科の評価について書かせていただきました。私も、プログラム長は今年が最後と考えています。少し大局的な視点で書かせていただきました。

今後も、時代の流れを捉え、卒業生が卒業後十分に活躍できるように教育をより充実させてまいります。卒業生の皆様には、今後も変らぬご支援をお願いいたします。



在学学生から

## 考えることの大切さ

機械工学科4年  
安倍 嵩士

私は自分で考えることが苦手でした。高校時代は勉強にしる部活にしる自分なりには考えていたつもりだったのですが、やはりどこか他人の意見に翻弄され、疑うこともせず、かと言えただだ己のプライドやその時の感情に流されて、自身の行動を決めていたように思えます。疑うことが素晴らしく、素直に聞くことが間違っているとは言いません。しかし、本当の意味で自分の考えを持ったことがありませんでした。

時は経ち、大学生となって4年。慌ただしく巡る季節の中で、先輩や同期の知人たちが就職をしていく様子を眺め、いつからか「自分のしたいことって何だろう」と思うようになりました。考えてもすぐに答えが出なかった私は、就活を終えた先輩や同期の知人になぜその職業を選んだのかを聞いてみました。ある人は医療用の機械を作りたいから。ある人はプラモデルが好きだから。ある人は車が好きだから。新しいことが学べて飽きないから。

色んな決め手がありました。しかし彼らは将来を見据え、自分のしたいことを叶えるためにはどうすべきかを自分の力で探っていました。私に足りなかったのはこれだと感じました。

自分の力で考える。自分の将来を考える。自分の取る行動がどんな結果になるのか考える。得た情報が正しいのか考える。これらは自分のしたいことを定めるためだけのものではなく、就活や日々の勉強、研究などでも必要となってきます。

だから私は学部生活で気づいたことを活かし、また物事を多角的に見てくことを通して、これからも思考力を養っていきたいと思っています。



在学生から

## 回顧

鹿児島大学大学院 理工学研究科

博士前期課程2年

化学生命・化学工学専攻

山本 巧

鹿児島での生活も6年目になり、今振り返るとこの6年間はあっという間のものでした。地元大分、また親元を離れ、様々なことを一人でこなすことに慣れない日々も続きましたが、現在ではそのような不安もなく充実した日々を過ごしています。

化学生命工学科への入学の際、私は医薬品関係の仕事に就くか教員になるかで進路を迷っていました。そのため、入学後は教員免許取得に向け工学部のカリキュラムにはない他学部の講義を受け、単位を取得しました。また、講義が終われば毎日のようにアルバイトや部活に行っては、忙しくも有意義な時間を過ごしました。限られた時間の中で様々なことに挑戦し、自分の将来の幅を広げることができたのは将来設計において大きな強みになりました。

医薬品には様々な種類がありますが、特に遺伝子組み換えや細胞培養技術をもって製造するバイオ医薬品には多大な可能性があると感じており、そのような研究活動を行うことのできる現在の研究室を選択しました。学部の勉強だけでは医薬品関係の仕事に就くという思いを達成するには知識も技術も足りないと感じ、また研究活動を続けていく上でそれら重要性を再認識し、大学院への進学を決意しました。学部・大学院と通して続けてきた研究活動は思うようにことが運ばず頭を悩ましたことは多々ありましたが、それも含め自身の成長につながったのではないかと思います。

多様に且つ絶え間なく変化する生物形態に人々が対応するために、医療・医薬品業の従事者にはそれら手助けをする使命があります。来春からは一社会人として、また医薬品に関わる職に就く者として、人一倍の責任感を持ち、常に向上心をもって人々の健康を支えられる人材でありたいと思います。



在学生から

## 久々、鹿児島

博士後期課程1年

(総合理工学専攻・基盤研究コース)

昌本 拓也

私は2020年10月に博士課程へ入学しました。海洋土木地盤工学グループの酒匂・伊藤研究室に在籍しております。他大学出身、社会人経由でしかも10月入学、さらに修士課程までと別分野の研究を始めるのは、かなりマイノリティだと思います。歴史ある鹿児島大学工学部の同窓会報という場にふさわしいのか分かりませんが、「これからお世話になります!」という意味も込めて自己紹介をさせて頂こうかと思います。

私は国分市(現霧島市)で生まれ、千葉県の印西市という利根川や印旛沼に近い町で育ちました。両親や家族は鹿児島や奄美の出身、祖父が鹿大教育学部のOBです。子供の頃の夏休みは鹿児島で過ごす時間も長くありました。当時は、セブンイレブンが無いことだったり、山形屋の立体駐車場がカッコよかったりと、些細なことばかり覚えています。久々に市内を歩いていると、そんな風景が結構変わっていて、「15年の月日が流れたのだなー」と思い出に浸る毎日です。それでも相変わらず、吹上庵の卵焼きは絶品でした。

さて、私は中央大学、東京大学大学院で土木、とりわけ水理学を学びました。微分方程式、複素関数等、訳の分からない記号のオンパレードで吐き気を感じましたが、反骨精神でやっていく内に楽しくなりました(ちょっとだけ)。卒業・修士論文では、「自己浮上式津波避難施設」をテーマに、津波の力によって構造物がどんな挙動を示すのかを研究していました。

その後、新卒で某プラント建設会社に就職しました。ここで初めて配属された現場が造成工事でした。スケールの大きなものをつくりたくて土木を勉強していましたが、まさにその世界が目の前にあり、とても興奮していました。そこで最も興味を持った工事が、植物の力で斜面を保護する「法面緑化工」でした。経験に裏打ちされた、自然の力を使うという、いかにも土木チックな発想に感動しました。そんな法面緑化ですが未知な部分も多いようで、「このテーマで研究するのは楽しいかも」と思い会社を退職し、斜面崩壊等の研究を行っている酒匂先生、伊藤先生に快く受け入れて頂きました。

以上が私の自己紹介になります。経験少なく、技術も知識も未熟ですが、なんだかんだ土木の世界で楽しんでできました。縁ある鹿児島の地で、博士課程の3年間も充実して過ごせるよう、毎日楽しんでいこうと思います。海洋土木の諸先生方をはじめ、鹿大工学部の皆様にはこれからお世話になるかと思います。ご指導ご鞭撻のほど、何卒宜しくお願い致します。



留学生から

## 人とモノに繋がりを

電気電子工学科3年

燕 志豪 (エン シゴウ)

私の故郷では、私が小さい頃は停電が度々ありました。学校から帰ると停電になっていることがよくあり、冬の時期は日が沈み真っ暗でした。私は祖父母といっしょに暮らしていましたが、停電があるととても不便なことに、祖母はロウソクの灯りで夕食の準備をしていました。私も勉強はロウソクの近くで灯りがある限られた時間でしかできませんでした。私はいつか停電がない日が来ればいいなと思いながら暮らしていました。

中学校に入ってからテレビで日本のアニメが放送されるようになりました。当時まだ自分の街を出たことがなかった私にとっては、とても興味深いものでした。中国では集合住宅が多くマンションも多かったため日本のような一軒家の住宅をととても魅力的に思っていました。実際に自分でその地に行き自分で体験したいと思い、日本に留学することを決めました。

私が学ぶ電気電子工学科ではデバイス、エネルギー、通信の3つのコースがあります。3年生になり、その中で私は通信コースを選びました。最初は無線通信や光ファイバーで通信ができることを不思議に思っていました。現在これらの技術について学んでいます。子どもの頃は、携帯電話は2Gで、画像を表示するのに10秒以上もかかりました。それが4Gと進化しさらに現在は5Gが普及しつつあります。4K動画も簡易再生できるようになった現在、携帯電話等の移動体通信は、昔では想像もできないほど高速になり、人々の生活に必要不可欠なものとなりました。

私は、4年間の大学生活では、頑張って勉強すると同時に色々な所を訪れその地域の文化を体験したいと思っています。しかし今年はいまだ、コロナウイルスの影響で思い通りのことができませんでした。前期の授業は全てオンラインになりましたが、後期に入って授業は対面でできるようになり、少しずつ通常の生活に戻りつつあると思います。私は、残りの学生生活で、将来最新の研究を多くの人々の生活に生かせるように努力したいと思っています。

# 教員の異動

## <昇任>

(平成31年1月1日～令和2年12月31日)

(機 械)	定松 直	准教授	平成31年 4月 1日付	機械工学科 助教
(情報生体システム)	鹿嶋 雅之	准教授	平成31年 4月 1日付	情報生体システム工学科 助教
(電気電子)	野見山輝明	准教授	平成31年 4月 1日付	電気電子工学科 助教
(化学工学プログラム)	武井 孝行	教授	令和 2年 4月 1日付	環境化学プロセス工学科 准教授
(海洋土木工学プログラム)	酒匂 一成	教授	令和 2年 7月 1日付	海洋土木工学プログラム 准教授
(情報・生体工学プログラム)	小野 智司	教授	令和 2年 7月 1日付	情報・生体工学プログラム 准教授

## <辞職>

(機 械)	村越 道生	准教授	平成31年 3月15日付	金沢大学
(情報生体システム)	佐藤 公則	教授	平成31年 3月31日付	東京工科大学
(情報生体システム)	辻村 誠一	教授	平成31年 3月31日付	名古屋市立大学
(機 械)	錦 慎之助	助教	平成31年 4月30日付	帝京大学
(情報生体システム)	三鴨 道弘	助教	令和 2年 3月31日付	広島市立大学
(情報・生体工学プログラム)	朱 碧蘭	准教授	令和 2年 9月14日付	

## <定年退職>

(環境化学プロセス)	平田 好洋	教授	平成31年 3月31日付	昭和56年 4月 1日から平成31年 3月31日
(電気電子)	白樂 善則	教授	平成31年 3月31日付	昭和62年 7月21日から平成31年 3月31日
(化学生命)	肥後 盛秀	教授	令和 2年 3月31日付	昭和55年10月16日から令和 2年 3月31日
(海洋土木)	武若 耕司	教授	令和 2年 3月31日付	昭和57年 4月 1日から令和 2年 3月31日 志學館大学

## 機友会

### 機友会本部の活動状況

令和2年度の機友会総会は工学部同窓会総会の開催が予定されていたため実施されなかった。

令和元年度の機友会総会は、令和元年11月23日（土）温泉ホテル中原別荘にて、太田芳明関東支部長代理（S43卒）、斎藤和幸中京支部長（S47卒）、篠崎信一郎関西支部長（S44卒）、池田篤福岡支部長（S51卒）の来賓のもと、参加者54名で、福原稔庶務幹事の司会進行により開催された。総会では、初めに高崎征忠会長（S39卒）の挨拶、議長が選出、高橋淳二会計幹事による会計報告、吉満正美監事による監査報告などが行われ、これらが承認された。また、平成30年度岸園賞受賞者である炭谷佳二氏をお招きし、授賞式及び受賞者による講演が行われた。



令和元年11月23日（土）本部総会写真 その1



令和元年11月23日（土）本部総会写真 その2

懇親会は、熊澤典良会計副幹事の司会進行により高崎征忠会長の挨拶により開催された。来賓の木下英二工学部長、上谷俊平機械工学専攻長から来賓挨拶、黒木秀雄氏（S40卒）による乾杯を行い、杯が酌み交わされた。その後、恩師の戸谷眞之先生、野崎勉先生（S38卒）、浜崎和則先生（S39卒）、皮籠石紀雄先生（S45卒）、池田篤福岡支部長、篠崎信一郎関西支部長、斎藤和幸中京支部長、太田芳明関東支部長代理による挨拶が行われた。宴会の最後には、小原裕也氏（H19卒）による万歳三唱で盛況のうちに閉宴した。

令和元年度および令和2年度 機友会各支部の活動を以下のとおり報告します。

## 福岡支部の活動状況

機友会福岡支部では、令和元年度総会を令和元年11月2日（土）、西鉄イン福岡13Fの「ブロッソ」において開催しました。当日は来賓2名（大学：高橋淳二先生、恩師：野崎勉先生）と会員13名の計15名の出席者で実施しました。総会では議案として会計報告（決算報告・監査報告・予算案提案）及び新役員案が提案され、原案通りに可決していただきました。今年は役員改選期であり新役員案が提案されましたが、新人候補者がなく、全員留任という実状でした。

その後、懇親会に移り、野崎先生のご挨拶、会員の近況報告へと続きました。野崎先生は大学退職後は中国での環境事業や（社）日本オオカミ協会の南九州支部の代表でご活躍されており、なかでも一番の趣味である歌の世界で楽しんでおられるそうです。先生になる前の逸話も初めて聞き、音楽との関係が深いと再認識し、行動力の秘訣は音楽だと感じました。

さて、話は令和2年度に移り、支部総会は毎年11月の第1土曜日開催を基本としていますが、令和2年度は断腸の思いで中止を決断しました。令和3年度開催に向けて活動開始です。福岡支部の課題としては、若い方の参加が少ない状況であり、役員の硬直化も進んでおります。

今現在は、新型コロナウイルスの影響があり、活動が難しいですが、ぜひ同窓会活動に積極的にご参加をお願いしたいと思います。不定期ですが「支部交流会」と称し、総会以外の会員交流の場を開いています。令和3年度はぜひ実施したいと思っています。

さらに、鹿児島大学同窓会連合会福岡支部（通称：福岡北辰斜の会）に参加しており、令和4年2月の開催時は「機友会福岡支部」と「しらなみ会（海洋土木）福岡支部」にて共同幹事の予定です。ぜひご協力をお願いします。（令和3年2月の開催は中止）

【支部長】	池田 篤（S51卒）	【会計幹事】	田中 宣秀（S58卒）
【副支部長】	後藤 康史（S52卒）	【会計監査】	後藤 康史（S52卒）
【幹事】	柳 和宏（S57卒）		

※後藤副支部長会計監査を兼務

## 関西支部の活動状況

「関西支部」の総会は令和元年7月6日(土)大阪市内の「新大阪ワシントンホテル」にて、皮籠石先生、佐藤先生のご出席を賜り、50名で開催しました。総会は松元代表幹事(H1卒)の開会の辞で始まり、篠崎支部長(S44卒)の挨拶、そしてご来賓の二人の先生に鹿児島大学の近況のお話を含めたご挨拶を頂きました。講演として当初京セラの稲盛名誉会長のご講話を計画していましたが最終都合がつかず、急遽稲盛名誉会長の講演DVD「JALの再生」(オックスフォード大学での講演)をお借りして鑑賞させて頂き、同期の川上満州夫氏(S30卒)に稲盛名誉会長との思い出を感慨深く紹介して頂きました。

続いて懇親会では、内山六郎氏(S34卒)の乾杯でスタートし、各テーブルで焼酎を酌み交わしながら先輩や同輩そして後輩との懇親を深めました。その後、初参加メンバーの紹介とスピーチ、来年度の幹事紹介と挨拶、そして応援歌である七校寮歌の「北辰斜めに」を安楽和彦氏(S61卒)の巻頭言で唱和し、山口 巖氏(S34卒)の万歳三唱で盛況の内に閉演しました。

最後に出席者全員の写真撮影を行い、来年度の再会を誓い、解散いたしました。

令和2年度は7月4日(土)に開催予定でしたが、コロナ禍の影響で中止といたしました。

令和3年度は7月10日(土)同ホテル「新大阪ワシントンホテル」で開催の予定です。



令和元年7月6日(土) 関西支部総会写真

## 中京支部の活動状況

中京支部では、令和2年度総会は、新型コロナウイルスの影響で中止といたしました。以下、令和元年度の報告をいたします。

中京支部の総会を令和元年7月12日(金)に愛知県知立市の「ホテルクラウンパレス知立」にて開催しました。機友会本部から、皮籠石先生、福原先生をお招きし、静岡県、三重県等の遠方からの出席や本年度入社の手前会員の出席もあり総勢73名での開催となりました。

した。総会は、幹事会社 トヨタ車体（株）の司会進行の元、支部長 斎藤和幸氏（S47卒）の挨拶に始まり、今年度は、炭谷圭二氏（S55卒）への岸園賞の授賞式を本総会で行いました。また、ご来賓の先生より鹿児島大学の近況をご報告いただき、星野昭平氏（S33卒）による乾杯の音頭で歓談となりました。一年ぶりに交す挨拶や近況の話題などで各自、各社大いに親睦を深めることが出来ました。最後に、「北辰斜めに」を合唱し、副支部長 青木幸久氏（S49卒）による万歳三唱にて盛況のうちに閉幕しました。

中京支部では、引き続き幹事会を定期的に行い、中京支部の活性化及び遠方からの会員や若手の会員が参加しやすい環境づくりに取り組んでいきます。次回は、令和3年7月9日開催の予定です。是非とも開催できることを願っております。



令和元年7月12日（金）中京支部同窓会写真 その1



令和元年7月12日（金）中京支部同窓会写真 その2

浜松地区でも活動を行っています。ここに紹介いたします。中京支部活動の遠方会員支援方策として浜松地区で学部合同の活動を行っています。名称は「遠州おはら会」、発足は平成30年です。なお、3回目の令和2年度は、中京支部同様中止いたしました。以下令和元年度の報告をいたします。

令和元年9月14日（土）に静岡県浜松市内にて、昨年同様、スズキ㈱とヤマハ発動機㈱に勤務している鹿児島大学OBの同窓会を開催しました。この同窓会は、機友会、錦水会メンバーが中心になっており、今回の会へは機友会25名、錦水会4名、情報生体システム1名、農工1名、応化1名の合計32名が参加しました。また、平成30年は機友会中京支部長、錦水会東海支部長の参加があったのですが、令和元年は開催間際の連絡となりご両名とも都合があわず、参加戴けませんでした。今年は、平成31年卒の若手から昭和40年卒の大先輩まで集い、開始直後から終了まで会話が絶える事無く、楽しい時間となりました。また、一人ひとりが自己紹介を兼ねた挨拶をする中でも、あちこちから質問の手が上がり、笑い声等も高らかに響いておりました。

昨年命名した「遠州おはら会」も2回目の開催と成りましたが、昨年より6名減少しました。参加人数が減る中、新たに農学部出身のOBの参加もありました。来年は、両社の連絡網の見直しを行い、今年以上の参加者を集めたいと思います。

今年はまだ叶いませんでしたが、機友会中京支部、錦水会東海支部からの、新入社員名簿提供を受けながら、浜松（遠州）で鹿児島大学出身の全学部対象の会を更に大きく育てていくように頑張りたいと思います。来年からも、機友会中京支部、錦水会東海支部に身を置きながら、独自に大学全学部卒業生の懇親会として発展させていくようにいたします。



令和元年9月14日（土）遠州おはら会写真

## 関東支部の活動状況

2019年10月東京目黒三州クラブで関東地区機友会総会を行った。鹿児島大学工学部から福原先生初め機友会先輩、新入会員、総勢50名くらいの出席であった。問題点としては、

関東地区機友会を活性化するにはどうしたらよいか？ 具体的実施方法は

1. 参加者をもっと増やすには？
2. 長年やっている支部長、幹事や役員の交代をどうするか？
3. 機友会の同窓会等の確実な連絡方法はないか？
4. その他

本件につき事前に支部長、幹事、会計他有志を交え問題点の話し合いを行った。そのお陰で総会後この問題点を披露。支部長、幹事等候補者が現れ、又連絡方法についても話し合い良い情報を得た。今後同窓会を発展維持するために関係者と連絡を取り精力的に進めていきたい。

それから大変面白いニュースであるが機友会として1988年卒太田芳明君が代表を務める「北辰会」(メンバーは堤 直敏君、大宮司 尚君、柿元 邦彦君)が鹿児島大学卒業生及び現役の学生を対象に4人が交代しつつ、会社とはなにか？世の中をどう生き抜いて生きてきたか？その中で何が大切であるか？等数々の講演会やパネルディスカッションをとおり自分が経験した体験談、失敗談、成功談を公開し後輩の道しるべとなり、この成果が評価されこの度「岸園賞」を受賞することになり嬉しいかぎりである。

# 錦水会



鹿児島支部総会

## ◇鹿児島支部◇

### 3年に一度の錦水会本部総会開催

鹿児島支部長 池田 浩二

錦水会は平成22年度から、本部経費削減などを目途に全国7支部の支部長らが集まる本部総会を3年毎開催としている。令和元年度はその3回目の総会が鹿児島市で開かれた。

午後の本部総会に先立ち、午前は評議会が開かれ、会則の変更や慶弔規定の見直しなど活発に議論が交わされ、昼食をはさんで今後の方向が決められた。

午後の総会は、ホテル側の都合でこれが最後の会場となるホテルパレスイン鹿児島で開かれた。総会では、各支部総会に集まる若手会員が少ない傾向中で魅力ある同窓会活動への取り組みなどについて、今後とも連携して進めていくことになった。また、今年度の新入学生に対して、入学後早い時期に同窓会活動の理解を深めてもらうアクションを進めていくことになった。3年毎の本部総会を今後も継続していくことなど確認して閉会した。

本部総会の後は、鹿児島支部の総会と懇親会が開かれた。懇親会では各支部長も参加して歓談がすすんだ。最後は現役学生も肩を組んで会場いっぱいに大きな輪を作り、恒例の淵田先生の巻頭言に続いて北辰斜めに全員で斉唱して、盛会のうちに閉会した。

## オンラインで支部総会

令和2年度の支部同窓会総会の検討を始めるころは丁度、コロナウイルス対策で3密を避けて、不要不急の外出を避けてとのアナウンスが盛んな頃だった。今年度の同窓会総会はやむなく中止かと思いながら、大学の講義の様子や、他学部同窓会の動きの情報収集を兼ねて集まったところ、今年度はオンライン形式で講義を初めているとのことだった。

会議アプリの「ZOOM」を使い、学生は講義室に集まらずに受講しているとのこと。

同窓会としてもこの形式で総会が開けないか検討をはじめた。オンライン総会が上手くいかなかったら同窓会の議決は、最後は郵送便による決済へいつでも切り替えられると思いながらオンライン支部総会を計画、準備して10月24日無事、開催終了することができた。



初めての試みにいろいろ助言を戴いた先生方、お手伝いいただいた支部幹事の方々方に感謝したい。他支部では、総会の時期は違うものの現時点で今年度は中止方向となった。

また、鹿児島支部総会に先立ち、卒業生のベテランと若手の講師2人に、これまでの経験等を話してもらう「きばっど会」も開催した。今年は、名古屋・三菱重工のOBと、鹿児島高専のOBといづれも初めて現地から、会議アプリ「ZOOM」に入り、講演していただいた。受講する学生は、ソーシャルディスタンスを保った1教室に30人ほどあつまつたほか、オンラインで約130人が参加して、講演から質疑応答まで無事終了することができた。2人の講師の方も初めてのオンライン講演の試みにこころよく対応して戴き深く感謝したい。

#### ◇関東支部◇

関東支部長 田原 洋一

#### 情報生体工学科の学生との交流会を開催

情報生体工学科の学生23名と引率の大塚先生、淵田先生が、京浜地区の工場見学のために上京されましたので、恒例の交流会を実施しました。支部からは7名のOBが出席しました。OBからは自らの経験を踏まえ後輩へのアドバイス、また学生の方は今後の目標、夢等について話してもらいました。



(令和元年9月4日 於：東天紅国際フォーラム店)

#### 工学部関東合同同窓会を開催

渡邊先生と山本先生に出席いただき、支部からは25名が出席し開催しました。

懇親会の前に、渡邊先生から「未来を拓く知能ロボット・AI技術」というテーマで講演会をいただき、時間が足りない程の質疑で盛り上がりました。なお今回は卒業後約10年ながら初めて出席してくれたOBもいて、今後もっと交流の輪が広げられそうな予感する会となりました。



(令和元年11月30日 於：三州倶楽部)

◇関西支部◇

平成30年度 関西支部総会

関西支部長 白石 司

平成31年3月16日(土)に大阪市内の道頓堀ホテルにて、篠原 篤志先生(電気電子工学科)と瀧田 孝康先生(情報生体システム工学科)をお招きし、総勢23名の出席のもと関西支部総会を開催しました。総会では、篠原先生からご専門の講演をいただいた後、瀧田先生より大学の近況を紹介いただきました。その後、新役員体制の承認を行い、最後に巻頭言に引き続き「北辰斜めに」を全員で合唱し、散会となりました。なお、令和2年3月に予定していました令和元年度の総会は多数の出席希望が寄せられておりましたが、残念ながらコロナ感染拡大の状況を鑑みて中止としました。



関西支部総会

◇東海支部◇

<同窓会について思う事>

東海支部長 永野 博

～ どこも楽しかー、嬉しかー ～

今年はコロナ環境下、残念ながら顔を合わせての同窓会は持てず。  
そこへ寄稿依頼、はて？ という事で同窓会全体を振り返ってみることに。

1. 小学校：かすかな記憶の中で  
懐かしい友と懐かしい情景へ一っ飛び、時々涙もお出ましに
2. 高校：多感な時期を思い出し  
勉強とクラブ活動の狭間で悩む、それにうづきに戸惑った思春期
3. 大学：今思うと自由の時だったのだが  
沢山のクラブ活動と少しの勉学、それに沢山の友を得た
4. 会社：報酬の対価として、身体と知識を提供した時期  
先輩後輩の礼儀は常識の範囲、過去の上下関係を露わにする大人になれない人も
5. リタイア後の友達と：自由クラスメンバー  
若さを貰いながら勉強しつつ人生ヘルパーとして、家族同士の付き合いも

人生の流れに沿い、共に遊び、苦しみ、楽しんだ事は、その時々友ありてなり。  
その中でも、大学の大人の友は人生に大きく影響を与える友です。  
同窓会はその友を私の為に、呼んでくれます。  
また、共に人生を歩もうという気持ちにさせてくれます。

有り難い！



東海支部大会

## ◇福岡支部◇

### 今年の支部活動

福岡支部長 権藤 正信

今年の錦水会福岡支部総会は新型コロナ禍により中止せざるを得ませんでした。年に一度、顔を合わせるのを楽しみにしておられる先輩方に交じりそれぞれの近況のこと、今回は欠席のあの人はどうしているか等情報交換する会が出来なかったことは残念でなりません。

現役学生の皆さんの企業見学会時の懇親会もさせていただいていますが、これから社会に出ていく後輩諸君に何がしかお役に立てれば同窓会支部にとって幸いだったのですが。新型コロナ禍を克服し、早く普段の生活を取り戻したいものです。



福岡支部総会



現役学生の皆さんの企業見学会時の懇親会

## ◇熊本支部◇

### 第24回錦水会熊本支部総会報告

熊本支部長 小田 博昭

令和2年の熊本支部総会・懇親会は、中止となりました。コロナ禍の中、高齢者が多いこと、コロナ感染者の増加に歯止めが出来ていないことなどから、残念ながら開催は無理と判断したところです。

熊本では原則として10月第1土曜日に開催しており、名簿上で約90名の方がおられますが、出席者は、毎年、約10名程度で、メンバが固定され、若い方の出席がないのが課題となっています。

令和3年には、コロナ問題も落ち着き、若い方の出席もあり、新しい風が吹いてくることを大いに期待しているところです。



熊本支部総会

## ◇宮崎支部◇

### 令和元年度 宮崎支部総会報告

宮崎支部長 本田 博

第36回宮崎支部総会は、開催予定日に台風19号が宮崎直撃の予報で心配しましたが、幸いにも宮崎をそれて大した被害もなく、予定通り開催できました。10月12日（土）に県庁近くの「和食の橘」にて、電気電子工学科の八野教授にご出席いただき、総勢15名で開催しました。

総会では、支部長挨拶、先生からは大学の近況を紹介して戴き、会計報告の後、福岡さん（S37年卒）の乾杯で懇親会を始めました。恒例の会員のスピーチではユニークなもの

もあり、あっという間に時間が過ぎていきました。

最後に、「記念祭歌」、「巻頭言」、「北辰斜に」を大合唱でしめて、二次会へと移動となりました。

なお、令和2年度の総会・懇親会は、コロナ禍の中で中止としました。



宮崎支部総会

# AOI会

AOI会会員の皆様におかれましては、ご清祥のこととお喜び申し上げます。また、平素から同窓会の活動にご理解とご協力を賜り、深く感謝申し上げます。

新型コロナの脅威は、まだまだ予断を許さない状況であり、会員の皆様もご苦勞をされておられることと案じております。今般のコロナ禍により、社会生活の多くの場面で変化への対応を余儀なくされておりますが、本学科の講義も遠隔と対面の併用により実施されました。また、本年度AOI会、各支部の総会や懇親会も中止となりました。

工学部同窓会報「南桜風」の発刊は、同窓会名簿が作成される年（5年毎）は休刊となります。昨年が丁度名簿作成のため南桜風休刊の年でした。そのため、本年度は2019年度の各支部活動のご報告をお届け致します。

一日も早い新型コロナウイルス感染症の終息と、皆様のご健康をお祈り申し上げます。

## ■ 2019年度 第13回 AOI会設計優秀賞

建築学科同窓会AOI会が主催する「AOI会設計優秀賞」は、「建築を学ぶ有望な在学生の設計活動を励ます」ことを主旨として、2008年に創設されました。設計課題に真摯に取り組み、年間を通して創作・設計活動に秀でた学生を表彰・奨励し、次代を担う若者を応援することを目的としています。

第13回 AOI会設計優秀賞（2019年度）

- 1年生 野口 理紗 木戸なぎさ
- 2年生 鈴木 芹菜 中州賢太郎
- 3年生 松崎 太一 杉岡 和

## ■ 2019年度 第4回 AOI会建築賞

「AOI会建築賞」は、建築学科同窓生が設計した優れた建築作品に贈られる賞です。

第4回AOI会建築賞（2019年度）受賞作品

車田克則（H26卒） 作品名「アムテック 研究開発センター」

設計・監理 大和ハウス工業 総括・建築担当 車田  
施工 大和ハウス工業 総括・建築担当 中尾



正面写真



内部写真

## ■建築ナビ「先輩と進路・就職を語る会」

最前線で活躍されている本学科の卒業生をお招きし、社会的経験、人生観等を、講演して頂きました。

日時 | 2019年9月28日(土) 14:00～17:00

場所 | 鹿児島大学 稲盛会館

平野 公平 「建築に携わる」

平成14年卒 平野公平建築設計事務所 代表

渡島 秀夫 「鹿児島を創る県職員の魅力

－30年を振り返って－」

平成2年卒 鹿児島県土木部建築課住宅政策室

長宗我部 誠 「建築分野の生産領域における  
生産性の向上と働き方会回」

昭和58年卒 株式会社竹中工務店

幸加木 宏亮 平成17年卒 株式会社竹中工務店

堤 章 平成24年卒 株式会社竹中工務店



建築ナビポスター制作：M1西野

## ■第62回鹿児島大学建築展

「ライトで空間をみよう～空間という新たな視点を～」

鹿児島大学第62回建築展実行委員長 3年 杉岡 和

第62回鹿児島大学建築展は「ライトで空間をみよう～空間という新たな視点を～」をテーマとして11月3日、開催致しました。ライトを作り照らしてみることで、空間という新たな視点を持ち、普段から意識してもらうためのきっかけを作ることを目的としました、より多くの方に今後良い空間を求めるという考えを持って欲しいという想いを持ち、今回の建築展に取り組みました。当日は、おはら祭と同日ということもあり、100名以上の方に参加頂き、学生や小さい子どもを連れた親子が比較的多かったようですが、ご年配のご夫婦やお一人で立ち寄った方なども興味を示してくださり、幅広い層の方々に楽しんでいただきました。

開催にあたり、協賛頂きました企業の皆様や沢山のOB、OGの皆様、マルヤガーデンズの職員の方など、多くの方々からご協力を賜りました。簡単になってしまいますがここに感謝の意を記します。至らないところも多く、迷惑をおかけしてしまいましたが今後とも鹿児島大学建築展は続いていきますので何卒よろしくお願ひ申し上げます。



第62回鹿児島大学建築展 当日の様子

## 2019年度（令和元年度）各支部の活動報告

### ■AOI会 鹿児島本部厄払い会

2020年2月1日、新しくオープンした稲盛記念館の2階レストランにて、2019年度の鹿児島厄払い会が開催されました。2020年、建築学科は創立75年を迎え、また、工学部改組元年となる年であることから、建築学科の新たな門出を祝い、盛大に実施されることとなりました。在校生も参加し、総勢165名もの大宴会で、現職員の他、旧職員の赤坂先生、土田先生、松永先生、友清先生、揚村先生、徳田先生にもご来場頂き、大変盛り上がりしました。また、23社もの企業から協賛を頂くことができました。これも皆様のご活躍のお陰です。深く御礼申し上げます。

同会の中で、第3回 AOI 会建築賞授賞式及び第4回 AOI 会建築賞受賞者の発表が執り行われました。また、恒例の厄払いも行われ、5名の厄が参加者の皆様により払われました。

会場は、昨年竣工した稲盛記念館2Fのレストランで開催しました。多くの参加者で満ち溢れ、昨今の3密回避の状況からは考えられない状態でしたが、コロナ禍で75年周年の会を持つことが出来ない今、この会で皆様が一堂に会することができ、本当に良かったと感謝の念に堪えません。

鹿児島本部は毎年2月第1土曜日です。ぜひご参加下さい！

会長武田敏郎氏の挨拶

会場の様子

2019年度厄払い対象の皆様



2020年2月1日（土） AOI会鹿児島厄払い会 稲盛記念館階段にて撮影

## ■北九州AOI会

小野 朋朗 (H4卒)

福岡市にてAOI会北九州支部総会が行われました。

今年は69名の参加となり、鹿児島大学より本間先生にお越し頂き、土田先生と黒木先生にもご参加頂き大盛会となりました。

日時：令和元年12月7日（土）18：00～

場所：平和楼 天神本店



2019年12月7日（土）北九州AOI会 懇親会集合写真

### □建築学科 1期生 島 清房 先輩

これまで北九州AOI会にご参加されていた、建築学科1期生 島先輩に、ヒアリング調査の機会をいただきました。現在もご自身の設計事務所に毎朝出勤されていらっしゃるようです。入学式は、1945年10月、伊敷の校舎で3年間学ばれたそうです。恩師であった梶島先生が「落第はさせん、一日でも早く社会に出て、この国を復興してくれ！」と昭和23年の春、焼け野原となった鹿児島市街を指しておっしゃったことが今でも印象に残っているとのことでした。その後の日本の復興により現在の我々がある事を思い、非常に重みのある一言でした。当時の伊敷校舎での様子、更に、建築讚美もご披露いただきましたが紙面の都合上、全てをご紹介できないのが残念です。

写真左

右の帽章は、鹿児島大学の前身であった鹿児島県立工業専門学校1期生に配られたもので、工専の文字が表記されています。この帽章を、高校時の学帽に取付けていたそうです。



島清房先輩（右）と奥様（左）

## ■関西AOI会

関西AOI会代表幹事 瀬山 憲正（S47卒）

2020年は、新型コロナウイルスの感染拡大に始まり、夏の猛暑に大型台風の襲来など、何かと健康と生活に大きく影響することが起きていました。

例年9月最終土曜日に開催予定の関西AOI会総会及び懇親会は、昨今の新型コロナウイルス感染状況を鑑み、定例夏季幹事会にて本年は中止とさせていただきます。

我々関西AOI会の仲間は、若き希望あふるる一時期、鹿児島のに集い、学び、巣立ち、縁ありて関西地区に在住、昭和30年代から「ああ、おい、飲も会」に始まり相互協力しながら切磋琢磨、現役学生の関西研修「現場研修・懇親会」サポート、京都ウォーキングなど会員交流を深め今日に至っております。老年・壮年・青年になった皆様がそれぞれの長所を持ち寄り、「未来へ向けて」翼と輪が拡がり、皆さんが集える「関西AOI会」としたいと思っています。

総会・懇親会では先輩・同期・後輩が一堂に会し、直接顔と顔を向き合わせ、思いを語らう大切さは、何事にも代えがたい貴重な時間と機会だけに、開催中止は誠に残念なことです。ゴルフ親睦会など開催が可能な活動は例年通り行い、「会報」発行は継続し、関西AOI会の活動、会員皆様との交流は引続き図っていきたくて考えております。

来年度の総会および懇親会は2021年9月25日（土）（9月の最終土曜日）に開催予定です。コロナ禍の不安な状況はまだしばらく続くかと思いますが、心と身体の健康に留意され日々大切にお過ごし下さい。

また元気に集い語らえる時間を心待ちにいたしております。

〈関西AOI会『会報』から挨拶文抜粋〉

2019年9月28日（土）関西AOI会 懇親会集合写真



1976年に作製された関西AOI会の会旗



1976年関西AOI会 会旗がお披露目された時の総会集合写真

昭和51年秋の関西AOI会総会にて、現在の会旗が完成、お披露目されました。鹿児島大学建築学科の先輩諸氏がかつて振った応援旗を模した、紅地に白文字で染めたデザインになっており、関西AOI会のさらなる発展を祈念し、作られました。



2019年7月19日 宮崎AOI会 懇親会



# 南窓舎密会

南窓舎密会の部会便りとして、令和元年に開催された第27回南窓舎密会総会、令和2年に第28回南窓舎密会総会、南窓舎密会関係の近況をご報告致します。

## 【第27回南窓舎密会総会】（令和元年11月9日（土））

第27回南窓舎密会総会は、本誌17号でもお伝えした通り新しい総会の運営方法にて、秋季ソフトボール大会後、郡元南キャンパスにある教育食堂(エデュカ)にて開催されました。

- ・令和元年度 秋季ソフトボール大会 10：30～16：00 於 教育学部グラウンド/体育館
- ・第27回南窓舎密会総会 16：10～16：40 於 エデュカ

1. 開会の辞 庶務幹事
2. 会長挨拶 染川 賢一 南窓舎密会会長
3. 議長選出 山元和哉 工学部同窓会会計幹事

### 4. 議 題

- 1) 一般報告 本部報告（庶務幹事）  
支部報告（各支部代表予定：田島、奥平、田中、黒田 様）
- 2) 会計報告 平成30年度 決算報告（会計幹事）、監査報告（監事）  
令和元年度 予算案（会計幹事）
- 3) その他 報告：工学部75周年事業について

### 5. 閉会の辞

- ・懇親会 17：50～18：20 於 エデュカ

総会に先立って実施された秋のソフトボール大会（於教育学部グラウンド）は天候にも恵まれ、染川会長をはじめ多くの同窓生により結成されたOBチームも参加、盛会にて幕を閉じました。ソフトボールで汗を流した後の総会・懇親会には74名（うち学生60名）が参加し、本部報告、支部報告、工学部75周年事業の説明があり、会計報告が承認されました。また、化学生命・化学工学専攻の二井教授による化学系学科の現状報告がございました。

## 【第28回南窓舎密会総会】

（令和2年10月10日（土）13：00～15：00 於 化生工棟42号教室および遠隔会議）

1. 開会の辞 庶務幹事
2. 会長挨拶 染川 賢一 南窓舎密会会長、参加者（自己）紹介
3. 議長選出

### 4. 議 題

- 1) 一般報告 本部報告（庶務幹事）  
支部報告（支部代表予定：徳永、種子田、田中、古川 様）  
工学部創立75周年記念事業関係報告（会長、編集幹事）

- 2) 会計報告 令和1年度 決算報告(会計幹事)、監査報告(監事)  
令和2年度 予算案(会計幹事)
- 3) 次期(2021.4-2024.3)会長、副会長、本部幹事、監事(案)
- 4) 学科名の変更に伴うホームページの改訂について
- 5) その他 報告:工学部75周年事業について

#### 5. 閉会の辞

第28回南窓舎密会総会は、コロナウィルス感染の拡大による影響のため遠隔会議による総会のみで開催となりました。昨年に引き続き、本部報告、支部報告、工学部75周年事業についての説明があり会計報告が承認されました。南窓舎密会関西支部長をお務めいただきました福里隆一様(S46卒)がご逝去されました。南窓舎密会会員一同心よりご冥福をお祈りいたします。

予定していた下記の講演は2021年度に順延となりました。

講演会(中止)

講演1.「食品工場での化学工学の活用」

有水 伸一氏(平成9年 応化工修了、株式会社 サナス)

講演2.「公益性を有する試験検査事業の展開～水・食品・医薬品等の検査を通して～」

山口やよい氏(昭和58年 応化卒、鹿児島県薬剤師会)

#### 令和元年度および2年度南窓舎密会経過報告(抜粋)

2019/4/4	環境化学プロセス工学科新入生歓迎会(於 共通棟202号室)
2019/4/4	化学生命工学科新入生歓迎会(於 共通棟201号室)
2019/4/6	鹿児島大学同窓会連合会総会・懇親会(於 城山観光ホテル) 南窓舎密会からの出席:柴川、東、満塩、山口、山元、吉留
2019/6/8	環化工・化生工ソフトボール大会 (工学部同窓会学生諸活動助成金(3万/件)による)
2019/6/22	南窓舎密会 東海支部 総会・懇親会 (於 名古屋市 名古屋駅前、参加者34名(含 恩師5名、支部外9名))
2019/8/3	令和1度鹿児島大学オープンキャンパス(体験講義、実験、デモ、など)於 鹿児島大学工学部 環化工A:二井晋 教授 「超音波のチカラ」 環化工B:水田 敬 助教 「よく「冷やす」とよく光るLED照明」 ～うまく「熱を逃がす」と省エネに!～」 化生工A:橋口周平 助教 「遺伝子工学の世界を体験してみよう」 化生工B:橋口周平 助教 「遺伝子工学の世界を体験してみよう」
2019/8/6	南窓舎密会 学内幹事会(於 化生工棟会議室);南窓舎密会&スポーツ大会・総会・懇親会等について(柴川会長、吉留庶務幹事、満塩会計幹事、橋口編集幹事、中島監事、山元本部幹事、鮫島幹事)
2019/8	南窓舎密会本部幹事会(メール会議、南窓舎密会&スポーツ大会・総会・懇親会等について)
2019/11/9	南窓舎密会&スポーツ大会(於 鹿児島大学グラウンド)、参加6チーム(含OBチーム) 南窓舎密会総会(於 エデュカ)、出席者74名(含 学生60名) 懇親会(於 エデュカ)、参加者74名(含 学生60名)
2020/3/25	環境化学プロセス工学科、化学生命工学科、化学生命・化学工学専攻 卒業・修了証書授与式(中止)
2020/8/	南窓舎密会 学内幹事会(於 化生工棟会議室)
2020/10/10	南窓舎密会総会(遠隔会議)

## 南窓舎密会東海支部による本部支部合同ご当地旧教員を囲む交流会のご報告

令和元年6月22日（土）於名古屋市

恩師5名（染川先生、前田先生、幡手先生、八島先生（名大工）、中先生（京都工繊大））

東海支部参加者 20名

東海支部以外 9名（うち工学部関係者34名）

南窓舎密会東海支部による鹿児島本部および他支部も参加できる新しい企画で、かつて鹿児島大学で教鞭をとり、南窓舎密会の会員でもあった旧教員で、東海地区近隣、名大工や京都工繊大で現役にてご活躍の方々や、関東企業での活躍者等を招いて、同窓生と旧交を温め、情報交換をしてもらった。

本会をきっかけに交流が深まることを期待して希望者から事前に“情報掲示板”と称する自己紹介資料を募集し、当日全員に配布した。旅行、写真を楽しんでいる方はその仲間の募集が、また仕事内容を紹介し一緒に仕事ができないか？等、期待以上の反応が得られた。返信が16名からあった。

通常の支部総会だと参加者が限られるが、他支部から参加があると年齢層もより広がるなど、十分な手ごたえが得られた。東海支部外からの9名の参加者により、「卒業以来2,30年ぶりに再会出来た！」と昔話にまた仕事の展開にと花が咲いていた。今後が楽しみである。

南窓舎密会東海支部 奥平浩之



## 恩師竹下寿雄先生ご逝去の報（南窓舎密会及び関係者各位）

令和元年8月19日（令和2年11月再録）

恩師 竹下寿雄先生は、8月12日満95歳で永眠されました。先生は亡くなる12日、自宅での夕食まではお元気であられたとのこと。謹んでご報告し、ご冥福を祈ります。

ご葬儀等は、故人の遺志によりご家族と近親者のみで積善社飛鳥会館で15日執り行われました。そのご遺族からのお知らせは、8月16日の南日本新聞社会面に出されました。

また同日別面に、鹿大名誉教授 竹下壽雄氏のご逝去記事（ご容体急変の様子と、ご略歴およびご業績）が社会部に掲載されています。

先生は鹿児島大学の前身、県立鹿児島工専に昭和22年から奉職され、昭和32年には応用化学科教授に昇任され、稲盛和夫京セラ名誉会長様方も教育され、工学部長時には博士課程設置、研究環境向上、またシラス等鹿児島県資源開発にも尽力され、平成6年南日本文化賞（学術産業部門）等の授賞歴も記されています。当同窓会前身舎密会設立及び会の盛会にも積極的にご支援頂きました。

工学部事務では16日に上記2面をみて、ご遺族に問い合わせ、工学部内の訃報通知：竹下壽雄 名誉教授 の連絡がなされています。またご遺族の意向によりご香典・供物等は辞退申し上げます、とのこと、が付記されています。

南窓舎密会では、ご遺族にお悔み方を申し上げるとともに、規定にしたがいご香典をお送りしました。

なお竹下研究室関係者を中心に、竹下先生を偲び、永年のご功績を顕彰する「竹下寿雄先生顕彰会」の開催が今年6月に予定されていましたが、新型コロナウイルスの沈静化まで開催が延期されています。

南窓舎密会会長 染川賢一、庶務幹事 吉留俊史

### 部会および各支部の新体制

第28回南窓舎密会総会において、役員改選が次の通り承認されました。各支部の役員と併せて掲載いたします。

会 長：下茂 徹朗（昭46）

副 会 長：有水 伸一（平7）

監 事：大竹 孝明（昭52）、橋口 周平（平6）

代表幹事：安藤 浩毅（平2）

庶務幹事：山元 和哉（平8）、伊藤 博雅（昭44）、山本 高師（昭53）、  
東 正樹（平8）、西牟田幸治（昭55）、鳥原 誠（平4）、  
黒木 修（平5）

会計幹事：満塩 勝（平6）、田中 博（昭44）、山口やよい（昭58）、  
下之蘭太郎（平15）、森蘭 孝介（平22）、増永 卓朗（平28）

編集幹事：中島 常憲（平6）、小幡 透（平7）、鶴田 将真（平22）、  
鮫島宗一郎（平1論博）

#### 関東支部

支部長：徳永 正勝（昭59）  
副支部長：川窪 修身（昭45）  
幹事：田島 宏幸（昭62）  
幹事：桐野亜希子（H12）  
顧問：三宅 征夫（昭43）

#### 東海支部

支部長：種子田実郎（昭41）  
会計：落合 志礼（昭46）  
庶務：奥平 浩之（平2）  
監事：西川路清彦（昭45）

#### 関西支部

支部長：田中 譲次（昭46）  
副支部長兼監事：戸井 啓介（昭57）  
庶務幹事：今村 恵（平4）  
庶務幹事：樋渡 功（平18）  
会計幹事：諏訪下一美（昭49）  
幹事：前田 雄一（昭49）

#### 北九州支部

支部長：古川 睦久（昭42）  
副支部長兼会計：片山 佳樹（昭57）  
庶務：上蘭 貴広（平12）  
庶務：皿田 二充（平7）  
監査：川原田 浩（昭56）  
顧問：黒田 真也（昭41）

#### 教員配置図（令和2年4月現在）

令和2年3月をもちまして肥後盛秀教授が定年退職されました。最終講義および退官記念祝賀会は令和2年2月21日（金）に開催されました。令和2年4月1日に化学工学プログラムの武井孝行先生が教授に昇任されました。

工学部 先進工学科 化学工学プログラム

理工学研究科 工学専攻 化学工学プログラム

（学術研究院 理工学域 工学系 化学工学プログラム）

教授：甲斐 敬美、二井 晋、吉田 昌弘、武井 孝行（令和2年4月昇任）

准教授：鮫島 宗一郎、中里 勉、

助教：五島 崇、下之蘭太郎、水田 敬、

工学部 先進工学科 化学生命工学プログラム

理工学研究科 工学専攻 化学生命工学プログラム

（学術研究院 理工学域 工学系 化学生命工学プログラム）

教授：石川 岳志、門川 淳一、隅田 泰生、橋本 雅仁、

准教授：上田 岳彦、金子 芳郎、高梨 啓和、中島 常憲、山元 和哉、吉留 俊史

助教：新地 浩之、橋口 周平、満塩 勝、若尾 雅広

退職教員 令和2年3月 肥後 盛秀



## 最終講義と記念祝賀会

化学生命・化学工学専攻 肥後 盛秀

私は令和2年3月31日で定年退職しました。2月21日の16:10から131号教室で最終講義を行い、18:30から稲盛記念館のヴェジマルシェで記念祝賀会を開催しました。約60名と34名の参加者であり、盛会でした。最終講義の第1部「金属薄膜の分析化学における利用に関する研究」では、九州大学工学部応用化学科の昭和51年度の卒業研究からの研究の軌跡を、第2部「島津家の代表的な当主と重要な家臣」では、郷土の歴史の大きさを伝えたく、初代の島津忠久を始めとして、重要な当主9名と西郷隆盛を含む家臣9名の事績を紹介しました。

九州大学では石橋信彦名誉教授と小川禎一郎名誉教授のご指導で、電子衝撃発光法による分子の解離励起過程の研究でした。高真空中での電子と分子の衝突により生成する励起水素原子のバルマー線を、ファブリ・ペロー干渉分光器を用いて $0.02\text{\AA}$ の高分解能で測定し、その線形を波長で微分することによる励起水素原子の並進運動エネルギー分布を求める解析法を考案しました。研究成果を主にChem. Phys.に投稿し、学位論文にまとめました。この研究成果により、昭和60年度の井上科学振興財団研究奨励賞を受賞しました。

本学での最初の研究は鎌田薩男名誉教授のご支援で、真空蒸着により作製した金属/金属酸化物/鉛構造の接合に流れるトンネル電流を極低温4.2 Kで測定し、金属酸化物上の試料の振動スペクトルを測定する非弾性電子トンネル分光法 (IETS) でした。ロックインアンプを用いてトンネル電流の二次微分を行う測定装置を自作し、 $\text{Al}_2\text{O}_3$ と $\text{MgO}$ 上の吸着分子や数nmのSiやGe薄膜の状態分析を行い、研究成果を主にJ. Phys. Chem.に投稿しました。

アメリカ化学会の論文誌への投稿が切っ掛けとなり、平成7年10月10日から10カ月間の文部省在外研究では、ワシントン州立大学のK. W. Hipps教授とU. Mazur教授のご夫婦の研究室で、平坦なAl薄膜作製の研究を行いました。田舎町のPullmanの大学で、両教授と学生諸君と研究に専念しました。帰国後、各種金属薄膜の原子間力顕微鏡 (AFM) とX線光電子分光法 (XPS) による研究を行い、原子レベルで平坦なAu薄膜と粗い表面のAl薄膜の作製法を開発し特許を取得しました。研究成果を主にAppl. Surf. Sci.に投稿しました。

酸素グロー放電により疎水性のAu表面に生成する親水性の $\text{Au}_2\text{O}_3$  (酸化金) は、Auの表面改質として有望ですが、 $\text{Au}_2\text{O}_3$ は空気中では数日で分解してしまいます。XPSにより空気中の水と紫外線が分解を促進していることを発見し、暗所での無水炭化水素浸漬による長期間の保存方法を開発し特許出願しました。研究成果を主にAnal. Sci.に投稿しました。

光ファイバーのコアやガラス棒に蒸着した金属薄膜の表面プラズモン共鳴 (SPR) による新規屈折率センサーを満塩勝先生と開発しました。このセンサーにより、迅速簡便に各種蒸留酒の度数測定ができ、特許を取得しました。Au表面を特殊なテフロン薄膜で被覆することにより、小さな分子に対する選択性を持たせることができ、醸造酒のアルコール濃度の直接測定ができました。また自動車のエンジンオイル中のガソリン濃度についても測定ができ、これらの成果で特許を取得しました。研究成果を主にAnal. Sci.に投稿しました。

平成24年5月19～20日に本学で日本分析化学会第72回分析化学討論会を開催し、その後、九州支部長と監査を務めました。以上の業績と九州支部における活動と貢献が評価され、平成28年11月18日の九州支部創立60周年記念会で九州分析化学会賞を受賞しました。

日本の国立大学の現状は大変厳しくなっています。研究費は平成16年の国立大学法人化後

の運営費交付金の減少により、半分になった気がします。具体性を持たせた利用と応用を考えなければ研究費獲得が困難な状況です。各種運営の仕事が増えており、研究に取り組む時間が少なくなっています。在外研究員制度もなくなってしまいました。高等教育と科学技術の発展のために、研究者の自由な発想に基づく研究ができる環境を切望しています。

私の研究の基礎技術は真空蒸着と電子分光分析であり、機器分析施設のご支援で金属薄膜の分析化学における研究に取り組むことができました。知財と産学連携のご支援で科学研究費やJSTと助成財団から助成金をもらい、また会社との共同研究を研究室の皆さんと行いました。学科のJABEEプログラム責任者を平成18年度から13年間務め、3回の本審査と1回の中間審査で認定を獲得し、継続することができました。キャリア教育の導入による工学教育の改善にも取り組みました。九州大学の1年半を含む41年間の大学勤務で、大過なく無事に勤め上げることができ感謝しています。令和2年度からは大阪の切削加工の会社の社長付顧問に雇用され、学外共同研究員として共同研究に励んでいます。良い研究成果をあげられるよう、元気でもうひと頑張りしますので、皆様何卒よろしくお願い致します。



## 昇任のあいさつ

教授 武井 孝行

令和2年4月1日付で学術研究院理工学域工学系工学専攻化学工学プログラムの教授職を拝命致しました武井孝行です。私は九州大学大学院工学府物質プロセス工学専攻で博士の学位を取得し、その後、本学の博士研究員、九州大学の助教、本学の准教授を経て、現職に至ります。私は化学工学や生物化学工学を基礎として、再生医工学やバイオマテリアル開発、界面化学および物理化学を応用した微粒子設計・生産を行っています。このように研究分野が広範になったのは、私の恩師 川上幸衛 九州大学名誉教授から「所属や役職が変わったら、これまでとは別分野での研究テーマを立ち上げなさい。そのためには、情報収集や予備実験などに多大な労力が必要になるけれども、その知識や経験が後で必ず生きる。そして、常に変化しようとする姿を周りは見ているよ。」という言葉によるものです。これにより、助教時はバイオマテリアル開発を、准教授時には微粒子設計・生産に関わる研究テーマを立ち上げました。これまでの研究を大切にしながら今後も、新規な研究に挑戦したいと思っています。

昨年末から世界に広がった新型コロナウイルスの影響により社会が大きく変わりました。講義や研究においても同じで、2020年度の前期の講義はすべてオンラインでの実施となりました。また、多くの学会大会は中止になり、オンラインでの開催が一部の学会大会で見られる程度でした。後期からは対面式の講義が再開されていますが、今後の新型コロナウイルスの感染拡大状況によっては再度オンライン講義に戻る可能性もあり、先の見えない状況です。しかし、よく言われるように、逆境は現状の好転材料になりえます。オンライン講義用に作成した動画を、対面式講義においても予習復習用に学生に公開することで、学生の理解度を格段に上げることができるようになりました。研究においては、研究室が閉鎖されていた約2ヶ月間は私自身が異分野の勉強をするのに良い学問充電期間となりました。それを今後の研究に活かしていきたいと思っています。

最後になりましたが、研究および教育に一層精励致す所存でございます。今後ともご指導・ご鞭撻の程、宜しくお願い申し上げます。

# しらなみ会

## 「しらなみ会会長挨拶」

会長 萩 亮 (昭和52年卒)

令和2年度は、コロナに始まりコロナで終わる1年になりそうですが、会員の皆様お元気で過ごしのことと拝察します。この会報が皆様に届くころには、いくらかでも明るい兆しが見えていて欲しいと切に願うところです。

さて、同窓会活動ですが、鹿児島の本部は元より各支部でもコロナ禍でほとんど活動ができない状況でありました。その中でも、昨年度の総会で承認いただき設立された鹿児島支部では、支部の初めてのイベントとしてゴルフコンペが開催され、十数人の少人数ではありましたが楽しい交流がなされました。今後、更に多くの支部会員が参加しゴルフに懇親会にと集える場となっていくことを期待しています。鹿児島支部の皆様、是非積極的にご参加ください。

今年は工学部創立75周年の記念行事が開催される予定です。しらなみ会会員の皆様からも多額の寄付にご協力をいただいております。この場を借りて厚く御礼を申し上げます。寄付は3月末まで受け付けています。いまからでもご協力いただける方は、工学部同窓会ホームページに受付窓口が設けられていますので、どうぞよろしくお願ひします。記念行事には是非多くの皆様に参加し学び舎の発展を祝っていただければ幸いです。

また、今年は2年に1回開催しているしらなみ会総会懇親会の開催年です。コロナ禍がどういう状況になるのか、情勢を見極めつつではありますが、対策をとりながら何らかの形で開催できればと考えています。また、追ってご案内しますので、その際は出席方よろしくお願ひします。

令和3年度が、コロナ禍の憂いから脱却し、会員の皆様にとって希望の持てる年となりますように。どうぞお元気でお過ごしください。

## 「しらなみ会本部活動報告」

本部庶務幹事 木佐貫 浄治 (平成2年卒)

### (1) 第19回しらなみ会総会の開催報告

昨年度は休刊だったこともあり、昨年(平成31年)4月に開催した平成最後の総会「第19回しらなみ会総会」について、簡単に報告します。

平成31年4月20日(土)に鹿児島市で開催しました。総会は71名の参加をいただき、事業報告、会計報告、監査報告を行い、承認をいただきました。また、令和元年度、2年度の事業計画及び予算など提案した議案について承認をいただきました。

総会の後は、昭和59年卒業で、現在、水産学部教授の西先生から「安全な海域利用促進

のために「～危機の連続～」と題して、講演をしていただきました。

西先生は、平成30年に「海洋立国推進功労者表彰（内閣総理大臣賞）」及び「水路記念日に伴う海上保安庁長官表彰」をダブル受賞されており、卒業生にも大変興味深い講演となりました。

また、懇親会を104名の大勢の参加のもと、開催されました。鹿児島県内に在住の方が中心ですが、全国にある各支部長や総会を機会に鹿児島に来ていただいた卒業生も参加していただき、最後には、恒例の円陣を組んでの「北進斜め」の大合唱で締められました。



第19回しらなみ会総会懇親会終了後の記念撮影

## (2) コロナ禍の中で

平成31年4月の総会で議決していただいた、学生を対象に学会旅費等を支援する「しらなみ会研究活動助成事業」などについて、令和元年度はそれなりに実施できましたが、新型コロナウイルス感染症の影響で、令和2年度は事業が思うように実施できていません。

大学も前期は、ほとんどがリモート授業で行われ、後期になって、徐々に対面講義が行われるようになってきていると聞いています。私も後期は、後輩達に対して、非常勤講師をさせられています。全員マスク着用、講義台の前にはシールドがあります。まだ、リモート授業も行われており、学生同士はもとより先生方とのコミュニケーションも、ままならない状況のようです。

学生さん達も不安の中で、進学や就職活動を行わなければならない。そんな学生さん達を特に就職活動で支援していけたらと思っていますので、各地、各方面で活躍されている卒業生の方、よろしくお願いします。

本年度は、役員会を夏に開催し、新型コロナウイルスの影響を考慮して「卒業生による講演会」を中止にしました。また、来年度、予定している第20回しらなみ会総会については、この「南桜風」が発刊されるころには、開催の有無を含め案内出来ると思います。ホームページ等を確認してください。

コロナ禍ではありますが、本部では、引き続き、同窓生皆様の意見を参考にさせていただきながら、同窓会活動を盛り上げたいと思っておりますので、よろしくお願いたします。

メール（木佐貫）：george@po.synapse.ne.jp（自宅）

kisanuki-george@pref.kagoshima.lg.jp（勤務先：鹿児島県庁）

総会の出席をはじめ、同窓生の集まり、情報提供、御意見・御要望、何でも結構です。気軽に連絡をください。

[件名に「しらなみ会」という文字を入れていただければ助かります。]

また、しらなみ会ではホームページを立ち上げています。上記の詳細な情報や同窓会活動などについて掲載しています。[“しらなみ会”で検索してください。]

HP：http://oce.oce.kagoshima-u.ac.jp/~shiranami/index.html

## 「しらなみ会東北だより」

東北支部長 山田 満秀（平成7年卒）

現在、東北地方（仙台）に在住しているしらなみ会会員で連絡可能な方は、残念なことに2名となりました。東北支部ではなくなりましたが、「しらなみ会」としての誇りをもって活動は継続していく所存です。今年は、新型コロナウイルスの影響によりご対面する機会が減少致しましたが、新しい生活様式に対応しながら、残っているメンバーで懇親会を開催しております。東北・仙台へお越しの際は、親睦を図りたいと思いますので、ご気軽にご連絡ください。

## 「関東支部活動報告」

関東支部長 瀬戸口 喜祥（平成7年卒）

平成31年（令和元年）度における関東しらなみ会の活動は以下の行事が行われました。

- 令和元年5月31日：令和元年度第1回 関東しらなみ会懇親会
  - 令和元年11月30日：工学部関東合同同窓会・令和元年度第2回 関東しらなみ会懇親会
- 第1回の懇親会には昭和54年卒～平成25年卒の26名（昭和卒：15名、平成卒11名）の方々にお集まりいただきました。結構若手も集まっただき、賑やかな懇親会となりました。
- 第2回の懇親会は1次会を工学部関東合同同窓会として位置づけ、関東しらなみ会からは昭和53年卒～平成25年卒の15名（昭和卒：4名、平成卒11名）の方々にお集まりいただきました。他の学科より若手が多く参加され、「しらなみ会はどうしてこんなに若手が集まるの?」と聞かれるほどでした。2次会も追加6名（昭和卒：4名、平成卒2名）が参加し、工学部関東合同同窓会の来賓で来られていた工学部同窓会会長でもある松永様（昭和52年卒）、工学部同窓会庶務幹事でもある酒匂様（平成13年卒）および武若先生（昭和52年卒）もお迎えして盛大にとり行われました。

関東しらなみ会の懇親会に若手が多く集まる理由を考えると、支部長をはじめ事務局も全て平成卒であり、それぞれが声がけして集まっているからだと思います。また、昭和世代の先輩方が平成卒の“若手”を可愛がっていただけるのにも理由の一つではないかと思っています。



令和元年度第1回 しらなみ会支部懇親会終了後の様子

令和2年度はコロナ禍のため、予定されていた鹿児島大学同窓会連合会（関東支部総会）が中止され、その期に合わせて開催予定だった関東しらなみ会懇親会も開けない状況でした。再び懐かしい面々が集まれることを切に思うところです。

コロナ禍が過ぎ、安泰な世の中を迎えたとき、若手から大先輩まで幅広い年代が参加する親睦会を盛大に行いたいと考えています。また、関東しらなみ会では、学会等で関東へお越しになる先生、学生、同窓生を歓迎するような会（飲み方）も開催したいと思いますので、その時には関東の同窓生へお声がけください。

## 「関西支部だより」

関西支部長 大田 英司（平成7年卒）

私が鹿児島で過ごした平成が終わり、令和に慣れ、平成という元号がずいぶん昔のように感じてきた昨今ではございますが、今年は、これまで経験したことのない新型コロナウイルスが全国に拡がっています。私たちが生活する関西では、毎日のように感染者数が増加しており、5人を越える会食の自粛や時短営業要請などが行われております。そのため、例年行っていました忘年会や新年会の開催が困難であり、同窓会としての活動が全くできておりません。安心して鹿児島を訪問したり、関西に来ていただけるように、少しでも早く、コロナが収まることを願っております。

## 「福岡支部活動報告」

福岡支部長 橋本 康範（平成7年卒）

### (1) 令和元年度

令和元年11月8日（金）に、福岡市中央区渡辺通にある「旬菜食房 ぎょくちょう」にて、令和最初の福岡支部の総会と懇親会を、35名の参加のもと開催いたしました。

令和2年2月15日（土）には、鹿児島大学同窓会連合会福岡支部“福岡北辰斜の会”の総会・懇親会に、しらなみ会福岡支部より6名が参加しております。

### (1) 令和2年度

コロナ禍のなか、多人数による会合での感染リスクを考慮し、年末に例年開催しておりました福岡支部の総会と懇親会は中止としております。

また、同様の理由により、令和3年2月20日（土）に開催予定となっておりましたが、鹿児島大学同窓会連合会福岡支部“福岡北辰斜の会”の総会・懇親会につきましても中止となっております。

今回、当支部は、機友会様と共同で運営幹事を担うこととなっておりますが、次回開催に持ち越しとなっておりますので、会員皆様の引き続きのご支援をお願いいたします。

直接お会いできる機会が減っておりますので、何かありましたら、お気軽に支部長橋本までご連絡ください。

（橋本） hashimoto.y02@city.fukuoka.lg.jp.

## 「武若 耕司 教授の最終講義が開催されました」

編集副幹事 小池 賢太郎（平成23年卒）

海洋土木開発工学科（現・海洋土木工学プログラム）の第1期生であります武若 耕司教授の最終講義が、2020年2月26日（木）15：00～16：30に工学部共通棟201号教室にて開催されました。



最終講義終了の記念撮影

武若教授は1982年4月の鹿児島大学ご着任以来、38年間にわたり海洋土木に係る教育研究にご尽力された他、学外では県内各自治体の橋梁長寿命化修繕計画策定委員会や、コンクリート工学に係る各種指針・示方書作成に携わるなど、学内外問わずご活躍されました。

最終講義では、「コンクリート構造物の耐久性向上のための各種の取り組みとそこから見てきたもの」を講義題目として、これまでの長きにわたる教育研究活動を振り返るとともに、コンクリート工学のこれからの課題・展望を語っていただきました。講義の後、学生及び教職員から感謝の花束贈呈も行われ、本最終講義を締めくくりました。

現在、退職記念事業はコロナ禍に配慮して開催を見送っておりますが、コロナ終息宣言など、情勢変化に伴い開催の目途が立ちましたら、改めて卒業生の皆様へご案内いたします。

# 鹿児島大学稲盛賞

(令和元年度)

## 令和元年度

[機械工学科] 屋宮 友哉

[電気電子工学科] 上野 邑真

# 鹿児島大学工学部稲盛学生賞

(令和元年度・令和2年度)

## 令和元年度

[機械工学科] 福山 昇吾

[電気電子工学科] 松元 俊樹

[建築学科] 久保田未咲

[環境化学プロセス工学科] 山下竜ノ介

[海洋土木工学科] 河野 優樹

[情報生体システム工学科] 宇都 嘉浩

[化学生命工学科] 山本 千純

佐々木優成

藤島 豪人

相木 雅史

時吉 泰世

榊 孝太

江畑 直幸

上堀内佑花

## 令和2年度

渡瀬 渉太 阿部 航大

森山 愛希 石崎 大悟

中村 恭子 松崎 太一

西尾 憲悟\* 末満 秋菜

東元 大介 笛田 泰成

漆野 孝行 梶浦 梨央

橋本 颯 佐藤 亜星

※(現 理工学研究科博士前期課程 工学専攻化学工学プログラム 1年)

鹿児島大学工学部稲盛学生賞規則第3条により、学部から飛び級した博士前期課程1年生を含む

# 累積学部長賞・成績優秀賞

(平成30年度・令和元年度)

## 平成30年度累積学部長賞

[機械工学科] 中村 悠 鏡 優太 黒木 圭太 黒田 敦久  
森 瑛司 福永 樹 山口 大輝 赤田 彩莉  
竹ノ内泰征

[電気電子工学科] 平川 大地 吉永 賢 高木 佑誠

[建築学科] 有馬 真輝 安長 瑠人 大脇由里加 菊川 貴智

[環境化学プロセス工学科]	富松 莉央 深水 雄斗	服巻 晃志	中原 珠音	渡邊 大佑
[海洋土木工学科]	川畑 雅樹	吉本 亮将		
[情報生体システム工学科]	井手上陽祐 徳丸 俊哉 石田 祥馬	林 祐作 木下 貴裕 鈴木 崇大	西村 一心 中村 亮太	宮下 由聖 宮田 陸斗
[化学生命工学科]	金子 美穂 上田 暖	飯干 寛太	下田 裕菜	野林三早希

### 令和元年度累積学部長賞

[機械工学科]	屋宮 友哉 濱崎 公隆 井手 雄仁 萱野 佑介	福山 昇吾 二宮 佑樹 石外 哲也	佐々木優成 安達 崇 北嶋 柁	篠原 乾 上木 壮宏 濱本 瑛羅
[電気電子工学科]	松元 俊樹	藤島 豪人	上野 邑真	
[建築学科]	久保田未咲 WANG HONG JUN	相木 雅史	鳥越さくら	
[環境化学プロセス工学科]	吉永 美樹 上原 悠生 坂本 洸大 山口 公輔	アリヤダルマ 田端 夏季 市來 彩華 松谷 菜那	高尾 涉 時吉 泰世 田中 望美 竹山 侑志	山下竜ノ介 三浦 詩乃 歳川 真也 森満 優斗
[情報生体システム工学科]	宇都 嘉浩 大毛 廉也	三田 竜大 西川 哲也	江畑 直幸	森田 聡太
[化学生命工学科]	山本 千純 富岡奈那子	上堀内佑花 渡辺 隆太	小牧 史和 高瀬 綾香	柴原 里奈

### 平成30年度累積成績優秀賞

[機械工学科]	中村 誓吾 中倉 弘貴 菅野 剛嗣	宮岡 晴樹 村上 悠 上田 一清	佐藤 拓実 古城 結実 熊谷 優斗	亀澤 大樹 徳永 晃司 白濱 幹智
[電気電子工学科]	佐藤 誠也 藤原 明弘	瀬口 純平	福岡 遼	平島 景
[建築学科]	田原迫茉莉 安田 岳史	瀬戸まりな 福留 幹太	後藤 隆誠 藤原 淳	柴田 隆詠
[環境化学プロセス工学科]	赤司 智宏 落合 勇太	上田 裕喜 西田 雄貴	谷口 真優 新宮 惇也	尾鷹 洸
[海洋土木工学科]	森元 裕貴	松浦 恵介	東 尚士	清敷 大輔

[情報生体システム工学科]	川島 綾華 本田 結子 松下 昂成	山本 泰平 野口 康介 泊 大貴	黒鳥あゆみ 神山 樹一	福田 真治 小野 愛未
[化 学 生 命 工 学 科]	林 志帆 和田 悠希 LEE LE	末川あつき 大城 章瑚 HOOI	三輪 龍馬 幸 勝治 山本 巧	松林 由真 大賀 啓貴

### 令和元年度累積成績優秀賞

[機 械 工 学 科]	是永 優 本 健秀 岸 浩太郎	巴 龍人 中島 太聖 奥 紘輔	田之脇裕介 佐畑 友輝	西山 知希 谷口 智洋
[電 気 電 子 工 学 科]	大石 竣介 濱崎 隆佑 内田 和志	西山 和宏 木元佑太郎	佐藤 豪 重久 瑛	小倉 弘平 新海 智士
[建 築 学 科]	池畑 裕貴 前 綜一郎	久住呂大志 吉本 晃城	木和田有美 北迫 茂樹	長田 亮平 古賀 和夢
[環境化学プロセス工学科]	黒田あゆみ	杉藪 大雅	岩崎 祐也	
[海 洋 土 木 工 学 科]	河野 優樹	榊 孝太	川崎 奈穂	小川 大輝
[情報生体システム工学科]	吉原菜緒子 波瀬山元樹 福島 生人	東 芹奈 永住 拓視 濱平 陸	赤坂依吏子 澤田 賀樹	栗田みなみ 丸山穂乃香
[化 学 生 命 工 学 科]	坂本 彩菜 安部 省吾 伊藤 美咲 甲斐 楓	吉田 龍幸 池田 康朗 橋口 拓弥 園田 拓哉	黒木 毬花 宮原 晶宏 大山 奈月	長谷川 廉 大西 栞 西田 裕人

# 岸園賞

平成21年4月故岸園司前同窓会会長からの寄付により、平成23年に創設されたのが岸園賞です。対象者は工学部の同窓会会員、学生、大学院生で次の各号の一に該当し、拡大幹事会で決定した会員に与えられます。

- 1) 鹿児島大学工学部の名を高めた者
- 2) 工学部同窓会活動に尽力した者
- 3) その他前1) 2) 号と同等以上の表彰に価する行為があったと認められる者

\*平成25年8月23日の会則改正により個人のほか団体も対象となりました。

令和元年度受賞者 なし

## 令和2年度受賞者

○鹿大 北辰会（機械工学科 S43卒 太田芳明氏、大宮司尚氏、堤直敏氏、柿元邦彦氏）

鹿大北辰会は、趣味を通してのカルチャーライフの共有、社会との調和、独自競争能力の強化、恩返し貢献を目的意義として平成22年4月に発足し、現在活動中である。この会の代表者は太田芳明氏、他に大宮司尚氏、堤直敏氏、柿元邦彦氏の4名で構成し、全員機械工学科を昭和43年に卒業した者である。退職後、現在においても、太田氏はTOTO(株)特別社友、大宮司氏は日本コルゲート(株)代表取締役、堤氏はいすゞ自動車(株)理事、柿元氏は日産自動車(株)ニスモ・アンバサダーとして活躍中である。北辰会は、機友会関東支部メンバーとして、以下の内容を実施し、同窓会活動に尽力された。

- 1) 公益財団法人三州倶楽部（薩摩、大隅、日向、出身者の会）での経営研究会講演を4件
- 2) 本学工学部機械工学科での交流会、セミナー等講演を7件
- 3) 創立75周年記念講演会講演・記念誌寄稿等のその他の活動を7件

これらを実施した結果、1) および3) を通じて本学工学部機械工学科の名を高められ、2) を通じて機械工学科・機械工学専攻の在校生へ就職活動の支援において大きく貢献された。以上の北辰会の献身的な様々な活動は、部会支部活動の活性化という点で工学部同窓会活動の充実に繋がるものである。機友会から推薦の北辰会のこれまでの活動が機友会の同窓会活動に大きく貢献し、岸園賞を受賞するに相応しい団体であることが評価されての受賞決定となる。

# 令和2年3月・令和3年3月卒業及び修了生進路

(令和2年12月現在)

## 機械工学科

### 【令和2年】

エコー電子工業(株)  
NOK(株)  
関西設計(株)  
佐世保重工業(株)  
スズキ(株)  
スチールブランテック(株)  
住友ゴム工業(株)  
(株)第一メカテック  
ダイキン工業(株)  
ダイハツ九州(株)  
(株)鶴見製作所  
ディーピーティー(株)  
テクノプロ・エンジニアリング  
東芝プラントシステム(株)  
東レエンジニアリング(株)  
トヨタ自動車九州(株)  
(株)トヨタプロダクションエンジニアリング  
西日本旅客鉄道(株)

(株)日本製鋼所  
(株)ニューテック康和  
日置市役所  
(株)バルハウジング  
マツダ(株)  
(株)マルマエ

三島光産(株)  
三菱自動車エンジニアリング(株)  
(株)南日本情報処理センター  
(株)村田製作所  
(株)ユピテル鹿児島  
鹿児島大学大学院  
筑波大学大学院

### 【令和3年】

アイリスオーヤマ(株)  
(株)アマダ  
アルバック九州(株)  
(株)アルプス技研  
(株)アルペン  
宇宙技術開発(株)  
NECソリューションイノベータ(株)  
E N E O S 喜入基地(株)  
(株)オーガランド  
(株)鹿児島銀行

三機工業(株)  
(株)ソフト流通センター  
(株)ソラシドエア  
ダイハツ工業(株)  
テラテクノロジー(株)  
(株)ドコモCS四国  
トヨタ自動車九州(株)  
西日本プラント工業(株)  
日産自動車(株)  
日本車輛製造(株)  
ハイディメンション(株)  
(株)富士通九州システムズ  
マツダエース(株)  
三菱自動車エンジニアリング(株)  
(株)南日本情報処理センター  
(株)矢野特殊自動車  
(株)読売新聞西部本社  
鹿児島大学大学院

## 機械工学専攻

### 【令和2年】

旭化成(株)  
アズビル(株)  
アンリツ(株)  
いすゞ自動車(株)  
宇部興産機械(株)  
NECプラットホームズ(株)  
NOK(株)  
(株)荏原製作所  
九州電力(株)  
京セラ(株)  
コンチネタル・オートモーティブ(株)  
JFEエンジニアリング(株)  
JFEプラントエンジ(株)  
(株)SCREENホールディングス  
スズキ(株)  
(株)SUBARU  
ソニーセミコンダクタマニュファクチャリング(株)  
ダイキン工業(株)  
テルモ(株)  
東ソー(株)  
トヨタ自動車九州  
(株)トヨタ車体研究所  
日鉄テックスエンジ(株)  
日本車輛製造(株)

日本電産(株)  
パナソニック(株)  
Hitachi日立造船(株)  
ファナック(株)  
(株)富士通ゼネラル  
富士電機(株)  
(株)牧野フライス製作所  
(株)マルマエ  
(株)三井ハイテック  
三菱重工業(株)  
三菱電機(株)  
(株)メイテック  
ヤマザキマザック(株)  
YKK AP(株)  
鹿児島大学大学院博士後期課程

### 【令和3年】

(株)アドバンテスト  
(株)アルトナー  
NTN(株)  
(株)荏原製作所  
王子ホールディングス(株)  
大分キヤノン(株)  
(株)大島造船所  
川崎重工業(株)  
キヤノン(株)  
キヤノンマーケティングジャパン(株)  
京セラ(株)  
KMバイオロジクス(株)  
(株)コベルコ科研  
JFEエンジニアリング(株)  
(株)ジェイテクト  
シュルンベルジェ(株)  
(株)SUBARU  
住友大阪セメント(株)  
住友電気工業(株)  
積水化学工業(株)  
ソニーセミコンダクタマニュファクチャリング(株)  
東海興業(株)  
東洋エンジニアリング(株)  
(株)トクヤマ  
トヨタ自動車九州(株)  
日産自動車(株)  
日鉄鉱業(株)  
日鉄テックスエンジ(株)

日鉄プラント設計(株)  
パナソニック(株)  
日野自動車(株)  
富士ソフト(株)  
富士電機(株)  
(株)Flatt Security  
本田技研工業(株)  
三井化学(株)  
三菱電機(株)  
三菱長崎機工(株)  
ヤマザキマザック(株)  
ヤマハ発動機(株)  
ユニプレス(株)  
正大食品

## 電気電子工学科

### 【令和2年】

旭化成(株)  
太平洋セメント(株)  
上野精機(株)  
(株)A R S  
エコー電子工業(株)  
(株)くまさんメディックス  
コンピュータ・テクノロジー(株)  
(株)サザンクロスシステムズ  
新日本無線(株)  
住友電装(株)  
ソニー LSIデザイン(株) (2名)  
ソニーセミコンダクタマニュファクチャリング(株) (4名)  
テラテクノロジー(株)  
(株)デンソー宮崎  
(株)ドコモCS九州  
ドコモ・システムズ(株)  
(株)名村造船所  
西日本プラント工業(株)  
日本システム技術(株)  
富士ソフト(株)  
(株)富士通鹿児島インフォネット  
三菱電機ビルテクノサービス(株)  
(株)ユピテル (2名)  
鹿児島大学大学院電気電子工学プログラム (40名)  
九州工業大学大学院  
九州大学大学院  
奈良先端科学技術大学院

### 【令和3年】

FFGコンピュータサービス(株)  
JFEプラントエンジニア(株)  
(株)NTTファシリティーズ九州  
アズビル(株)  
エコー電子工業(株)  
(株)九電工 (2名)  
コマツカスタマーサポート(株)  
シャープ(株)  
(株)ゼンショーホールディングス  
(株)大気社  
(株)ドコモCS九州 (2名)  
トヨタ自動車九州(株) (2名)  
(株)トライグループ  
フェニテックセミコンダクター(株)  
(株)三井ハイテック  
吉野石膏(株)  
京セラ(株)  
京セラコミュニケーションシステム(株)  
三菱電機ビルテクノサービス(株)

(株)タムラ製作所  
日本ガス(株)  
日本データスキル(株)  
(株)日立建設設計  
富士通クラウドテクノロジーズ(株)  
公務員  
法人団体  
鹿児島大学大学院電気電子工学プログラム (54名)  
鹿児島大学大学院情報・生体工学プログラム  
東京大学大学院  
九州工業大学大学院

## 電気電子工学専攻

### 【令和2年】

アイシン・エイ・ダブリュ(株) (2名)  
ウシオ電機(株)  
(株)NTTデータMSE  
NTTデータ先端技術(株)  
関西電力(株)  
木村情報技術(株)  
キヤノンメディカルシステムズ(株)  
九州電力(株) (2名)  
京セラ(株) (8名)  
JFEプラントエンジニア(株)  
スズキ(株)  
ソニーセミコンダクタマニュファクチャリング(株) (4名)  
ダイハツ工業(株)  
T&D情報システム(株) (2名)

(株)東芝  
TOTO(株)  
(株)ドコモCS九州 (2名)  
ドコモ・テクノロジー(株)  
日鉄ステンレス(株)  
日本製紙(株)  
日本無線(株)  
パナソニック(株) (2名)  
(株)日立産業制御ソリューションズ  
ファナック(株)  
(株)富士通九州システムズ  
富士電機(株)  
古河電気工業(株)  
本田技研工業(株)  
三菱重工業(株)  
三菱電機(株) (4名)  
ミネベアミツミ(株)  
(株)安川電機  
ルネサスエレクトロニクス(株)

### 【令和3年】

(株)アイシン  
アズビル(株)  
エキサイト(株)  
NECプラットフォームズ(株)  
(株)九州テン  
九州電力(株) (2名)  
京セラ(株)  
JR西日本  
信越化学工業(株)  
住友電気工業(株) (2名)  
(株)ソラシドエア  
ソニー LSIデザイン(株) (5名)  
ダイハツ工業(株)  
(株)ダイヘン  
T&D情報システム(株) (2名)  
デンソーテクノ(株)  
東京電力ホールディングス(株)  
東芝インフラシステムズ(株)  
(株)ドコモCS九州  
ドコモ・テクノロジー(株)  
日新電機(株)  
日鉄プラント設計(株)  
日本軽金属(株)  
パナソニックシステムデザイン(株)  
バルテス(株)  
(株)日立製作所 (2名)  
ファナック(株)

富士通(株)  
富士電機(株)  
三菱電機(株) (5名)  
ミネベアミツミ(株)  
(株)安川電機  
(株)夢テクノロジー  
リコー ITソリューションズ(株)  
ルネサスエレクトロニクス(株)

## 建築学科

### 【令和2年】

(株)ロググラム  
(株)植村組  
(株)大気社  
(株)高田工業所  
鉄建建設(株)  
公益財団法人東京都市づくり公社  
(株)大和ライフネクスト  
(株)松尾建設  
九州電力(株)  
新日本空調(株)  
(株)七呂建設 (計2名)  
清水建設  
防衛省陸上自衛隊  
(株)大林組 (計3名)  
鹿児島県庁 (計2名)  
日本住宅(株)  
東レ建設(株)  
(株)片平設計  
(株)奥村組  
鹿児島大学大学院建築学専攻(計29名)

### 【令和3年】

(株)高田工業所  
大成建設(株) (計2名)  
(株)Suiko  
大和ライフネクスト(株)  
(株)益田設計事務所  
(株)ジェイアール西日本ビルト  
鹿児島県庁  
(株)大林組 (計2名)  
大和リース(株)  
(株)パーシーズ  
戸田建設(株)  
(株)西建設計  
大分県庁  
住友林業(株)  
井原工業

(有)ダダ建築企画研究所  
SOLIZE Engineering (株)  
ヤマサハウス(株)  
福岡県庁  
大和リース(株)  
(株)DYM  
清水建設(株)  
(株)奥村組  
前田建設工業(株)  
株(株)平成建設  
(株)一条工務店  
(株)日本設計  
鹿児島大学大学院建築学プログラム(計29名)

## 建築学専攻

### 【令和2年】

応研(株)  
構造設計事務所ASA  
(株)丹青社  
(株)構造計画研究所  
Daring Design(株)  
(株)平成建設  
大和ハウス工業(株) (計2名)  
(株)押田建築設計事務所  
南国殖産(株)  
(有)すわ製作所  
住友林業(株)  
(株)竹中工務店  
鹿児島県庁  
九鉄工業(株)  
(株)NTTファシリティーズ九州  
(株)安井建築設計事務所  
(株)傳設計  
(株)日建ハウジングシステム

### 【令和3年】

(株)安井建築設計事務所  
天川リゾート(株)  
清水建設(株)  
(株)内藤設計事務所  
大成建設(株)  
(株)昭和設計  
(株)鹿島建設  
(株)関家具  
(株)乃村工藝社  
(株)大林組  
(株)大建設計  
YKK AP(株)

(株)アール・アイ・エー  
青木あすなろ建設(株)  
錢高組  
(株)竹中工務店  
戸田建設(株)  
成田国際空港(株)  
(株)NTTファシリティーズ  
大和ライフネクスト(株)

## 環境化学プロセス工学科

### 【令和2年】

旭テクネイオン  
鹿児島県庁(行政職)  
(株)ヨシカワ  
関西酵素  
J R西日本鉄道  
資生堂(掛川工場)  
スズキ  
西部石油  
ソニーセミコンダクタマニュファクチャリング  
大気社  
高田工業所  
ツムラ  
日阪製作所  
富士石油  
三井化学(大牟田工場)  
三井ハイテック  
ラピスセミコンダクタ宮崎  
レイズネクスト  
鹿児島大学大学院理工学研究科(17名)  
九州大学大学院  
奈良先端科学技術大学大学院

### 【令和3年】

IMJ  
アドバンスドインフォメーションデザイン  
鹿児島市役所  
神鋼環境ソリューション  
高田工業所  
千代田工商  
西日本シティ銀行  
日本製紙  
北海道大学大学院環境科学院  
三井化学大牟田工場  
レイズネクスト  
労働基準監督署(宮崎県配属)  
鹿児島大学大学院理工学研究科(17名)  
九州大学大学院

## 海洋土木工学科

### 【令和2年】

(株)安部日鋼工業  
(株)安藤・間  
(株)植村組  
愛媛県庁  
鹿児島県庁  
鹿児島市役所  
九鉄工業(株)  
共栄火災海上保険(株)  
熊本県庁  
(株)サタコンサルタンツ  
世紀東急工業(株)  
(株)大進  
東亜建設工業(株)  
東京都庁  
東洋建設(株)  
長崎市役所  
南生建設(株)  
(株)久永コンサルタント  
福岡県庁  
前田建設工業(株)  
三井住友建設(株)  
鹿児島大学大学院  
九州大学大学院

### 【令和3年】

(株)アウトソーシングテクノロジー  
鹿児島県庁  
鹿児島市役所  
(株)カゴシマ船場  
熊本県庁  
(株)クレアール  
駒井ハルテック(株)  
五洋建設(株)  
(株)三基  
鉄建建設(株)  
東亜建設工業(株)  
東洋建設(株)  
西日本高速道路エンジニアリング九州(株)  
西日本高速道路(株)  
(株)萩原技研  
東日本旅客鉄道(株)  
福岡市役所  
前田建設工業(株)  
三井住友建設(株)  
みらい建設工業(株)

若築建設(株)  
鹿児島大学大学院

## 海洋土木工学専攻

### 【令和2年】

(株)大林組  
(株)奥村組  
鹿児島県庁  
国土交通省九州地方整備局  
ショーボンド建設(株)  
大成建設(株)  
太平洋セメント(株)  
東亜建設工業(株)  
長崎市役所  
西日本技術開発(株)  
西日本高速道路(株)

### 【令和3年】

(株)CORE技術研究所  
鹿児島県庁  
鹿児島市役所  
大成建設(株)  
東亜建設工業(株)  
日本工営(株)  
鹿児島大学大学院

## 情報体システム工学科

### 【令和2年】

(株)KBKプラス  
(株)NTTドコモ  
SCSK九州(株)  
SCSKニアショアシステムズ(株)  
TIS西日本(株)  
(株)VSN  
インターネットイニシアティブ  
(株)栄都  
(株)エス・ティー・シー  
鹿児島県警  
(株)鹿児島データアプリケーション  
鹿児島データアプリケーション  
鹿児島労働局  
(株)九州DTS  
九州電力  
(株)九州日立システムズ  
九州日立システムズ(株)  
国家公務員一般職(海上自衛隊)  
システムリサーチ  
(株)システムハウス、アイエヌジー

シスメックスcna(株)  
ソニー LSIデザイン  
テクノプロ・デザイン社  
(株)テクノプロ・デザイン  
東京コンピュータサービス(株)  
東京コンピュータサービス  
日立システムズ  
(株)日立ソリューションズ西日本  
福岡県上級 教育行政  
富士通(株)  
防衛省 海上自衛  
丸紅ITソリューションズ  
(株)ラック  
リコージャパン  
(株)レジェンド・アプリケーションズ  
鹿児島大学大学院理工学研究科(40名)  
九州大学大学院(2名)

### 【令和3年】

(株)MJC  
NTTデータ東海  
(株)VSN  
(株)アドウェイズ  
九州NSソリューションズ(株)(2名)  
クレスソフト(株)  
シオステクノロジー(株)  
(株)システムライフ  
セラPOST  
(株)テクノスジャパン  
(株)デフィデ  
(株)電盛社  
トウメイ(株)  
(株)トヨタ車体研究所  
ニシム電子工業(株)  
(株)日本システムデザイン  
日立ソリューションズ  
日立ソリューションズ西日本  
富士通鹿児島インフォネット  
(株)南日本情報処理センター  
南日本ソフトウェア(株)  
鹿児島大学大学院(48名)  
東北大学大学院(2名)

## 情報体システム工学専攻

### 【令和2年】

IMJ  
LIXIL  
MJC(2名)

NECソリューションイノベータ(株)  
 NTTテクノクロス(株)  
 SCSK  
 アイシンコムクルーズ  
 エヌアイデイ  
 (株)オプティム  
 熊本国税局  
 現場サポート  
 合同会社DMM.com  
 高齢・障害・求職者雇用支援機構  
 コンピュートロン(株)  
 シスメックスCNA  
 セントラルソフト  
 東京ガスiネット(株)  
 ドコモ・テクノロジー(株)  
 (株)ドリーム・アーツ  
 日本システム  
 パナソニック(株)  
 パナソニックシステムデザイン(株)  
 日立製作所  
 ファナック  
 (株)富士通エフサス  
 富士通鹿児島インフォネット  
 富士通九州システムズ  
 富士電機  
 南日本情報処理センター  
 村田製作所  
 ヤフー(株)  
 リコー ITソリューションズ (3名)  
 ルネサスエレクトロニクス (2名)  
 (株)パナR&D

**【令和3年】**  
 NECソリューションイノベータ  
 NTTドコモ  
 NTT西日本 (2名)  
 SCSKニアショアシステムズ(株)  
 SCSK(株)  
 TBSテレビ  
 インタージテクノスフィア  
 宇宙技術開発(株)  
 (株)オプティム  
 京セラコミュニケーション(株)  
 京セラ(株)  
 九州旅客鉄道(株)  
 九電ビジネスソリューションズ(株)  
 シスメックスCNA(株)  
 (株)シマノ

ソニー LSIデザイン(株)  
 ソニーセミコンダクタマニュファクチャリング  
 ソフトバンク(株)  
 タイガー魔法瓶(株)  
 東京エレクトロン(株)  
 ドコモ・システムズ  
 日本光電工業(株)  
 パナソニックシステムデザイン(株)  
 三菱UFJインフォメーションテクノロジー  
 三菱電機(株)  
 南日本情報処理センター  
 ミネベアミツミ(株)  
 村田製作所  
 リコー ITソリューションズ(株)  
 ルネサスエレクトロニクス(株) (3名)  
 富士通エフサス  
 富士通ネットワークソリューションズ(株)  
 富士通株式会社  
 富士電機株式会社  
 野村総合研究所

## 化学生命工学科

**【令和2年】**  
 アソウ・アルファ  
 指宿市役所  
 SCSKニアショアシステムズ  
 大分市役所  
 鹿児島市役所  
 唐津市役所  
 京セラ  
 住居時間  
 熊本市役所  
 再春館製薬所 (2名)  
 JBグループ  
 新日本科学  
 積水メディカル  
 大陽日酸  
 トヨタ車体研究所  
 日本アムスコ  
 マツダ  
 山野井  
 鹿児島大学大学院理工学研究科 (25名)  
 鹿児島大学大学院医学総合研究科 (2名)  
 大阪大学生命機能研究科

**【令和3年】**  
 アウトソーシングテクノロジー  
 NECネットエスアイ

大口電子  
 海上自衛隊  
 鹿児島県庁  
 (株)アイロムグループ  
 (株)オンデーズ  
 (株)ボードルア  
 川澄化学工業  
 熊本県庁  
 ダイキンアプライドシステムズ  
 南国システムサービス  
 南国殖産  
 日本赤十字社  
 日本臓器製薬(株)  
 日立ハイテクソリューションズ  
 富士通鹿児島インフォネット  
 南日本情報処理センター  
 鹿児島大学大学院理工学研究科 (33名)  
 慶應大学医学研究科  
 つくば大学大学院理工情報生命学術院

## 化学生命・化学工学専攻

**【令和2年】**  
 アジレントテクノロジー  
 宇部興産  
 N O K  
 花王  
 鹿児島第一高等学校  
 関西熱化学  
 京セラ  
 熊本市役所  
 熊本製粉  
 KMバイオリジクス (2名)  
 財務省門司税関  
 サーマフィッシャーサイエンティフィック  
 J N C  
 JCRファーマ  
 シミックCMO  
 新日本科学  
 ソニーセミコンダクタマニュファクチャリング (2名)  
 ダイキン (2名)  
 ダイハツ工業  
 大正製薬  
 DNPファインケミカル  
 デグセリアルズ  
 東芝メモリ  
 東ソー  
 東洋製罐  
 D O W Aホールディングス

ナード研究所	三菱ケミカルエンジニアリング
日油	メタウォーター
日鉄ケミカル&マテリアル (2名)	森永乳業
日本製薬	山本化成
日産自動車	ワールドインテック
日鉄環境	
日立化成 (2名)	
丸菱油化学工業	
UACJ	
理研ビタミン	
リコー	
Y E J ガラス	
ワイエムシイ	
鹿児島大学大学院理工学研究科博士後期課程 (2名)	

### 【令和3年】

アジレントテクノロジー  
荒川化学工業  
NOK  
宇部興産  
オートリブ  
大倉工業  
小野薬品工業  
川澄化学工業  
キリンエンジニアリング  
クラレ  
KMバイオリジクス (2名)  
興和  
シミックCMO  
神東塗料  
新日本科学  
住友大阪セメント (2名)  
ソニーセミコンダクタマニュファクチャリング (5名)  
大気社  
田辺三菱製薬工場  
中外製薬工業  
デグセリアルズ (2名)  
デンカ  
東ソー  
DOWAホールディングス  
日鉄パイプライン&エンジニアリング  
日本アルコール産業  
日本グラスファイバー工業  
日本製紙  
日立化成  
日立プラントサービス (2名)  
本州化学工業  
三井化学

# 同窓会役員名簿および部会

令和2年12月現在

顧問	木下英二 (工学部長)
会長	松永洋文 (海土52)
副会長	5部会会長 (次頁)
庶務幹事	酒匂一成 (海土H13修)
会計幹事	山元和哉 (応化工H8)
編集幹事	重井徳貴 (電気H4)
監事	福原稔 (機械56)
	宮城泰児 (建築58)

## 【評議員】

### ◆機友会 (機械工学科、機械工学第二学科 機械工学プログラム)

浜崎和則 (39) 米倉真一 (40)  
皮籠石紀雄 (45) 福原稔 (56)  
池田清和 (56) 江口之浩 (H1)  
野妻光彦 (H1) 岡元徹 (H2)  
高橋淳二 (特別会員) 駒崎慎一 (特別会員)

### ◆南窓舎密会 (応用化学科、化学工学科、応用 化学工学科、生体工学科 (生体 機能材料工学コース)、環境化学 プロセス工学科、化学生命工学科、 化学工学プログラム、化学生命工 学プログラム)

鎌田薩男 (34) 染川賢一 (39)  
下茂徹朗 (46) 大竹孝明 (52)  
吉留俊史 (60) 安藤浩毅 (H2)  
伊藤博雅 (44) 中島常憲 (H6)  
小幡透 (H7) 有水伸一 (H7)

### ◆錦水会 (電気工学科、電子工学科、電気電 子工学科、情報工学科、生体工学 科 (生体電子工学コース)、情報 生体システム工学科、電気電子工 学プログラム、情報・生体工学プ ログラム)

永野博 (46) 権藤正信 (52)  
本田博 (52) 小田博昭 (47)  
池田浩二 (51) 小川重訓 (54)  
淵田孝康 (63) 鹿嶋雅之 (H11)  
川越明史 (H9) 向田善博 (H9)

### ◆しらなみ会 (海洋土木開発工学科、 海洋土木工学科、 海洋土木工学プログラム)

武若耕司 (52) 萩亮 (52)  
濱田成敏 (61) 羽田好勝 (59)  
木佐貫浄治 (H2) 山中浩平 (H2)  
審良善和 (H11) 濱園誠 (H13)  
長山昭夫 (H16) 小池賢太郎 (H23)

### ◆A O I 会 (建築学科、建築学プログラム)

守真和弘 (41) 末吉重栄 (44) 宮城泰児 (58) 渡島秀夫 (H2)  
肥後潮一郎 (H4) 日野真琴 (H7) 川畑忠行 (H8) 藤井英俊 (H10)  
峰元信明 (H13)

工学部同窓会事務局

窪田玲子 TEL/FAX 099-285-3494  
学内TEL/FAX 8317

# 部会各支部役員名簿

## ◆機友会

会	長	高崎	征忠	(39)
副会	長	皮籠石	紀雄	(45)
庶務幹事		福原	淳二	(特別会員)
会計幹事		高橋	典良	(特別会員)
編集幹事		熊澤	慎一	(特別会員)
編集副幹事		駒崎	健一郎	(特別会員)
監事		松崎	正美	(53)
監事		吉谷	康太郎	(H17)
関東支部長		内門	暉史	(43)
中京支部長		齋藤	和幸	(47)
関西支部長		篠崎	信一郎	(44)
福岡支部長		池田	篤	(51)

## ◆錦水会

会	長	葉山	勝年	(41)
副会	長	永野	博昭	(46)
副会	長	小田	博昭	(H9)
庶務幹事		向田	善博	(H9)
会計幹事		曲田	畜重	(46)
編集幹事		小川	重訓	(54)
監事		濱田	信之	(41)
監事		原口	俊幸	(53)
学内庶務幹事		渕田	孝康	(63)
学内会計幹事		川越	明史	(H9)
学内編集幹事		鹿嶋	雅之	(H11)
関東支部長		田原	洋一	(47)
関西支部長		白石	司	(59)
東海支部長		永野	博	(46)
福岡支部長		権藤	正信	(52)
熊本支部長		小田	博昭	(47)
宮崎支部長		本田	博	(52)
鹿児島支部長		池田	浩二	(51)

## ◆AOI会

会	長	武田	敏郎	(42)
副会	長	徳富	久二	(42)
顧問	問	川上	道夫	(34)
庶務幹事		塩屋	晋一	(57)
会計幹事		鷹野	敦	(H14)
編集幹事		増留	麻紀子	(H11)
監事		揚村	固	(48)
監事		下山	道男	(55)
関東支部長		荻野	廣己	(45)
関西支部長		瀬山	憲正	(47)
北九州支部長		佐伯	憲二	(48)
大分支部長		和田	正遠	(25)
宮崎支部長		安部	洋人	(46)

## ◆南窓舎密会

会	長	川賢	一	(39)
副会	長	安藤	毅	(H2)
監事		田中	博	(44)
監事		中島	常	憲 (H6)
代表幹事		下茂	徹	朗 (46)
庶務幹事		吉留	俊	史 (60)
庶務幹事		伊藤	博	雅 (44)
庶務幹事		山本	高	師 (53)
庶務幹事		有本	伸一	(H7)
庶務幹事		東正	樹	(H8)
会計幹事		満塩	勝	(H6)
会計幹事		大竹	孝	明 (52)
会計幹事		山口	やよい	(58)
会計幹事		増永	卓	朗 (H23)
編集幹事		橋口	周平	(H6)
編集幹事		下之	蘭太	郎 (H15)
編集幹事		鮫幡	宗一	郎 (論博H13)
編集幹事		小島	敬	美 (59)
教官評議員		甲斐	永	正 (59)
関東支部長		種子	田	實 (41)
東海支部長		福里	隆	一 (46)
関西支部長		黒田	真也	(41)
北部九州支部長				

## ◆しらなみ会

会	長	萩	亮	(52)
副会	長	羽田	好勝	(59)
監事		濱田	成敏	(61)
庶務幹事		木佐	貫治	(H2)
庶務副幹事		審良	善和	(H11)
会計幹事		濱園	誠	(H13)
会計副幹事		長山	昭夫	(H16)
編集幹事		山中	浩平	(H2)
編集副幹事		小池	賢太郎	(H23)
東北支部長		山田	満秀	(H7)
関東支部長		瀬戸	喜祥	(H7)
関西支部長		大田	英司	(H7)
福岡支部長		橋本	康範	(H7)

## ◆工学部同窓会大分県支部

支部長	大石	喬	(応化37)
副支部長	清田	善之	(建築46)
幹事	渡辺	高行	(機械49)
顧問	和田	正遠	(建築25)

# 本部 だより

## 令和元年度 鹿児島大学工学部

### 同窓会拡大幹事会 議事録

日時：令和元年8月16日(金)

17:00~18:45

場所：ジェイドガーデンパレス 4F 飛天

参加者：

**本部** 松永洋文会長、酒匂一成庶務幹事、  
重井徳貴編集幹事、山元和哉会計幹  
事、福原稔会計監事、宮城泰児会計  
監事

**機友会** 高崎征忠会長、皮籠石紀雄副会長、  
福原稔庶務幹事、熊澤良典会計副  
幹事

**錦水会** 葉山勝年会長、淵田孝康庶務幹事、  
川越明史会計幹事

**AOI会** 武田敏郎会長、塩屋晋一庶務幹  
事、鷹野敦会計幹事、増留麻紀  
子編集幹事、川畑忠行様

**南窓舎密会** 染川賢一会長、下茂徹朗代表  
幹事、吉留俊史庶務幹事、東  
正樹庶務幹事、大竹孝明会計  
幹事、満塩勝會計幹事、増永  
卓朗会計幹事

**しらなみ会** 萩亮会長、羽田好勝副会長、  
審良善和庶務副幹事

事務員窪田玲子 計29名

#### 議題1. 会長あいさつ

- 松永会長より通例の審議内容に加え、工学部創立75周年記念事業成功に向けての協力のお願いがなされた。

#### 議題2. 平成30年度同窓会運営報告 (担当幹事より)

- 1) 平成30年度行事および会議報告
- 平成30年度に執り行われた庶務、編集、会計幹事会の内容が報告され、確認された。

#### 2) 平成30年度本部会計決算報告

- 一般会計、岩崎基金、岸園基金の歳入、歳出および次年度への繰越金が確認された。

#### 3) 会計監査報告

- 福原稔会計監事より令和元年6月7日の会計監査の結果、関係書類が適正に処理されていたと報告された。

#### 4) 同窓会名簿第15号第6版発行報告

- 発行数、発行費が確認された。

#### 5) 会報「南桜風」第17号発行報告

- 製本数、発送数、返送数が確認された。  
(株)サラト、濱島印刷(株)の支払額(発行経費)が確認された。

- 発送の際、住所不明者情報の提供を同期の方にご協力いただいていることが説明された。

1)~5)について異議はなく承認された。

#### 議題3. 令和元年度同窓会運営計画 (担当幹事より)

##### 1) 令和元年度同窓会行事および会議報告と計画

- 庶務、編集、会計は概ね例年通りである。
- 今年度は3年毎の開催の関東合同同窓会が開催予定である。各部会の庶務幹事宛に関東支部より案内が届く予定。
- 編集関係では、今年度会報作成はなく、名簿の作成年であることが報告された。
- 会計関係では、督促状の説明(回数、発送月と宛先)がなされた。
- 期成会の会議報告がなされた。

##### 2) 平成30年度本部会計予算案

- 今年度の事業に伴う予算計画が説明された。慶弔費に稲盛和夫氏の名誉県民表彰のお祝い新聞掲載広告費を計上している。
- 今年度も一般会計の中から周年事業準備基金を積立する。
- 岩崎基金に依る事業計画はない。岸園基金は例年の事業に係る予算を計上している。

##### 3) 会費納入状況および本部・部会への配分額

- 各部会の現況と配分額が確認された。外国人・編入者は7月22日現在の納入者で計上している。また、未納者へ向けての督促状送付時期、送付先が説明された。

\* 8月19日各部会口座へ入金済

- 4) 同窓会名簿第16号第1版発行計画
  - 印刷業者、発行部数、見積り、今後の作業の流れが説明された。
  - 今年度より冊子ではなくCDで卒業生に配布する。
  - 会員の向けての販売は冊子である。1冊4,500円。
  - 5) 工学部同窓会学生諸活動助成の募集について
  - 詳細の説明と内容が確認された。
  - 申し込みには庶務幹事の押印が必要。
  - 6) 工学部同窓会諸活動支援の募集について
  - 詳細の説明および企画は学部全体に周知する事が望ましいと確認された。事務局より各庶務幹事へ資料を配信する。
- 1) ~6) について異議はなく承認された。

議題4. 各部会行事報告と計画

- 1) 平成30年度行事報告ならびに令和元年度行事報告と計画
- 機友会：福原稔庶務幹事、錦水会：淵田孝康庶務幹事、AOI会：塩屋庶務幹事、南窓舎密会：吉留俊史庶務幹事、しらなみ会：萩会長よりそれぞれの部会の行事報告、計画が報告された。

議題5. 岸園賞

- 1) 被推薦者の紹介  
今年度は推薦者なし。

議題6. その他

- 1) 工学部創立75周年記念事業に向けて一期成会一
- 期成会の進捗状況が報告された。趣意書等は8月中旬に発送の予定。
- 期成会は募金に関する作業を主とする。目標額については7,000万円と決定している。今後のスケジュールは各部会を通して企業、団体へのお願いに関する

る協力をしていただきたい。

2) 同窓会役員名簿

- 変更ありの部会は事務局へ連絡することが確認された。

以上

令和2年度 鹿児島大学工学部  
同窓会拡大幹事会 議事録

日時：令和2年8月28日(金)

16:32~18:48

場所：工学部建築学科棟2号館 01教室

参加者：

**本部** 松永洋文会長、酒匂一成庶務幹事、重井徳貴編集幹事、山元和哉会計幹事、福原稔会計監事、宮城泰児会計監事

**機友会** 高崎征忠会長、福原稔庶務幹事、高橋淳二会計幹事、野崎慎一編集幹事、松崎健一郎編集副幹事

**錦水会** 葉山勝年会長、淵田孝康庶務幹事、川越明史会計幹事

**AOI会** 武田敏郎会長、塩屋晋一庶務幹事、鷹野敦会計幹事、増留麻紀子編集幹事、二宮秀與先生、曾我和弘先生、川畑忠行様

**南窓舎密会** 染川賢一会長、下茂徹朗先生、吉留俊史庶務幹事、満塩勝会計幹事、増永卓朗会計幹事、下之蘭太郎編集幹事

**しらなみ会** 萩亮会長、羽田好勝副会長、審良善和庶務副幹事、小池賢太郎編集副幹事

\* 議題6 その他 75周年実行委員会 渡邊睦実行委員長ご出席賜り進捗説明

欠席：しらなみ会 長山昭夫会計副幹事 事務員窪田玲子 計34名

議題1. 会長あいさつ

- 松永会長よりこれまでの任期期間を総括しての話がなされた。今年はコロナ禍による計画の変更がある。工学部創立75周年に向けては引き続き同窓会としてできることを進めていく。

## HONBU DAYORI

### 議題2. 令和元年度同窓会運営報告

(担当幹事より)

#### 1) 令和元年度行事および会議報告

○令和元年度に実施された庶務、編集、会計幹事会の内容が報告され、確認された。

#### 2) 令和元年度本部会計決算報告

○一般会計、岩崎基金、岸園基金の歳入、歳出および次年度への繰越金が確認された。

○昨年度の工学部助成費について工学部の内規、用途を役員にて確認したことの報告がなされた。

#### 3) 会計監査報告

○宮城泰児監事より令和2年6月11日の会計監査の結果、関係書類が適正に処理されていた旨報告がなされた。

#### 4) 同窓会名簿第16号第1版CD発行報告

○昨年度よりコスト面を鑑みCDに変更した。

○CDの発行枚数、発行費の報告がなされた。無料謹呈分の冊子版は部会と大分県支部へ配布したことの報告がなされた。また、同窓会名簿冊子版の発行報告がなされた。今後4年は契約済みであり卒業生と他大学からの博士課程修了者へ配布する計画である。

○これからの販売はないが、個人を確認し閲覧を供することは可

1)～4)について異議はなく承認された。

### 議題3. 令和2年度同窓会運営計画

(担当幹事より)

#### 1) 令和2年度同窓会行事および会議報告と計画

○庶務、編集、会計の年間計画の説明がなされた。

○今年度はコロナにより延期や、中止となった会があった。工学部同窓会評議会、総会も当初は工学部同窓会75周年記念式典と同日開催の予定であったが、祝賀会中止の報を受け、例年通りの実施で進める予定である。それに伴う学内幹事会は12月予定であるが今後の様

子を見て進めていく。

○編集事業として会報と追録名簿第2版CDを発行する。75周年の記念誌原稿は8月末がメ切である。

○会計事業では今年度からの括り枠学生の関係で未納者に向けての督促状を2回とする。

#### 2) 令和2年度本部会計予算案

○今年度の事業に伴う予算計画が説明された。本年度は同窓会総会の開催年であるため部会への補助費を計上している。

○今年度も周年事業準備基金を計上する。本部受けより新入生からの会費5%程度を積金とする。

○岩崎基金より新型コロナウイルス感染症の対策費(透明フィルターなど)として50万円を工学部に寄付する件の説明がなされた。これは会長の発案で、本部役員が工学部総務課より現状を伺い本部幹事会にて検討し審議を受けるものである。

○岸園基金より75周年記念事業への支援金として各部会へ10万円ずつ支援する計画が説明され承認を得られた。用途は部会に委ねる。

#### 3) 会費納入状況および本部・部会への配分額

○各部会の現況と配分額の説明がなされた。括り学生分は前期においては本部預かりとし、後期に当該学生の所属部会が決定した段階での配分とする。前期分は6月29日現在の納入者での計上。

#### 4) 同窓会名簿第16号第2版CD発行計画

○印刷業者、発行枚数の説明がなされた。作業は9月スタートで10月末までの情報収集を依頼する。これからの流れが説明された。

#### 5) 会報「南桜風」第18号発行計画

○昨年度は名簿を作成したため会報の発行はなく、今年は2年分を掲載する。

○同期の不明者リストを同封し調査を行う。広告掲載も前号同様実施する。

○今年度は75周年の寄附金依頼を同封するため1カ月前倒して実施する。

6) 工学部同窓会学生諸活動助成の募集について

○詳細と内容が確認された。

○一学科⇒一プログラム（現在は混在）

7) 工学部同窓会諸活動支援の募集について

○採択された企画は部会、プログラムを超えて周知する。資料は事務局へ送付願う。

8) 同窓会評議会、総会について

○当初は4月24日を予定していたが、75周年記念事業の一部が中止となったため、これまで通りの計画で進めていく。3月中の開催を予定しており、日時や会場は状況を見ながら検討し報告する。

9) 特別支援金

○75周年記念事業に関する部会への支援金10万円は計画通り実施する。報告書の中の祝賀会は修正。部会で用途は委ねる。

10) 新役員について

○第1回庶務幹事(5/25)の際に会長…AOI会、庶務、編集、会計…機友会、南窓舎密会、AOI会、監事…錦水会、しらなみ会として担当部会調整を行い、現在それぞれの部会で検討いただいている。

11) 栄誉会員について

○工学部もこれまでに歴史を重ね、会員も国内外で活躍されている。そこで、特別の貢献のあった正会員を顕彰する称号を設け称えては、と栄誉会員を提案するに至った経緯、および趣旨の説明がなされた。

○栄誉会員の定義が示された。承認された場合、会則改訂となる。

12) 会則改訂

○正会員にて「理工学研究科(工学専攻)および在学生」を追加。改定日を追加記載。

1) ~ 12) において議題において異議は

なく承認された。

議題4. 各部会行事報告と計画

1) 令和元年度行事報告ならびに令和2年度行事報告と計画

○機友会：福原稔庶務幹事、錦水会：潤田孝康庶務幹事、AOI会：塩屋晋一庶務幹事、南窓舎密会：吉留俊史庶務幹事、しらなみ会：審良善和庶務幹事よりそれぞれの部会の昨年度の行事および今年度の計画について報告がなされた。

○各部会コロナ禍において、今年度の計画が思い描いていたように実施できず厳しい現状である。

議題5. 岸園賞

1) 被推薦者の紹介

○機友会：福原庶務幹事より「鹿大 北辰会」の推薦理由が述べられた。

2) 選考

○満場一致にて受賞が決定された。

議題6. その他

1) 工学部創立75周年記念事業へ向けて

○期成会松永会長より進捗状況の報告がなされた。コロナ禍にあり寄附金を集めることにも難しい状況である。これから拡大幹事会後に期成会を開催し、今後の方策を練る予定。会員へ向けては新たに文書を発出するのではなく今年度発行の会報に最後のお願いを同封する予定。

○現在のところ趣意書発送者の4%程度からレスポンスがあった。

○実行委員会より進捗状況の報告(別紙資料有)

渡邊陸実行委員長より資料を基にし、現況の説明がなされた。

・委員会実施状況、記念式典・講演会開催時期、寄附金受け入れ状況(8/17)小委員会の活動状況(記念誌発行、記念銘板作成、工学研究・海外派遣等助成、講演会、記念式典・祝賀会)の説明がなされる。

・寄附金の増収方策として「進取の精

神」基金にリンク、メールにより周知を図る計画

- ・記念式典と講演会は三密にならぬよう配慮し実施する。令和3年4月24日（土）祝賀会は中止

## 2) 同窓会役員名簿

○変更有の部会は事務局へ連絡していただくことの伝達がなされた。

その他) 鹿大ホームカミングデー 2020について令和2年11月21日（土）実施予定の会に各部会より2名の出席者推薦の依頼がなされる。(変更あり得る) 当日の講師紹介がなされた。

以上

※拡大幹事会の資料は事務局で保管してあります。

## 平成30年度・令和元年度会計報告

会計幹事 山元 和哉 (応化工H8年卒)

平成30年度および令和元年度の同窓会本部の一般会計、岩崎基金、岸園基金について、別表に従って収支決算を報告させていただきます。

まず30年度は、一般会計の主な収入は前年度繰越金(7,916,338円)と学部の新入生、編入学生等が納入する同窓会終身会費(20,000円/人×431人=8,620,000円)です。これらの収入に会報広告代、預貯金利子を合わせて、歳入の合計金額は16,837,217円となりました。主な支出としては、各部会への終身会費の支払い(4,220,000円)、本部運営関連経費(1,255,245円)がありました。そのほかには、会報17号の発行費(2,741,453円)、平成30年度学部卒業生に配布した同窓会追録名簿(15号第6版)の発行費(572,958円)、役員会・評議会等運営費(143,873円)、同窓会連合会分担金(100,000円)、本部役員出張費(60,000円)、大分県支部総会補助費(36,000円)、同窓会本部部屋の借り受け金と工学部事務助成費(192,640円)、学生の諸活動助成費(195,000

円)、慶弔費等(1,542円)がありました。歳出の合計金額は9,538,149円でした。この結果、歳入から歳出を差し引いた7,299,068円を令和元度へ繰り越すことになりました。

岩崎基金については、支出はなく、12,888,341円を令和元度へ繰り越すことになりました。

岸園基金については、岸園賞記念品費(50,000円)、司会の開催経費(184,567円)、受賞者旅費(65,000円)、諸活動支援費(500,000円)を支出し、23,852,789円を次年度へ繰り越すことになりました。

次に令和元年度は、一般会計の主な収入は前年度繰越金(7,299,068円)と学部の新入生、編入学生等が納入する同窓会終身会費(20,000円/人×404人=8,080,000円)です。これらの収入に預貯金利子を合わせて、歳入の合計金額は15,379,426円となりました。主な支出としては、各部会への終身会費の支払い(3,400,000円)、本部運営関連経費(1,266,147円)がありました。令和元年度学部卒業生に配布した同窓会追録名簿16号第1版の発行費(525,600円)、役員会・評議会等運営費(150,512円)、同窓会連合会分担金(100,000円)、本部役員出張費(240,000円)、大分県支部総会補助費(48,000円)、同窓会本部部屋の借り受け金と工学部事務助成費(193,220円)、学生の諸活動助成費(165,000円)、工学部創立75周年記念事業関係の費用として5,863円、慶弔費等(32,400円)がありました。歳出の合計金額は6,126,742円でした。この結果、歳入から歳出を差し引いた9,252,684円を次年度へ繰り越すことになりました。

岩崎基金については、支出はなく、12,888,445円を次年度へ繰り越すことになりました。

岸園基金については、令和元年度は該当者なしのため岸園賞記念品費の支出はなく、司会の開催経費(162,476円)、前年度の該当者の受賞者旅費(60,000円)、諸活動支援費(280,000円)を支出し、23,352,042円を次年度へ繰り越すことになりました。

## 鹿児島大学同窓会連合会だより

平成最後となる平成31年度の鹿児島大学同窓会連合会総会・懇親会は、平成31年4月6日（土）に、城山ホテル鹿児島にて、工学部から総会8名、懇親会37名が参加し開催されました。総会では前年度の事業報告、会計監査報告がなされ満場一致で承認されました。協議終了後には、14年の長きにわたり同窓会連合会会長を務められた江口前会長から退任の挨拶、新会長に選任された富永茂人会長から新任の挨拶、そして、平成31年4月1日付けで鹿児島大学長に就任した佐野学長から新学長の所信表明の説明がありました。総会終了後に開催される懇親会は、平成31年度は工学部同窓会の当番で開催されました。工学部同窓会の松永会長の発声の乾杯の後、出席者は和やかに歓談し、各学部の近況報告や出席者紹介などがありました。最後は、北辰斜めにを斉唱し、農学部同窓会の藤田会長の発声で万歳三唱を行い、盛況のうちにお開きとなりました。

令和2年度の総会・懇親会は、令和2年4月11日（土）に城山ホテル鹿児島にて開催を予定していましたが、新型コロナウイルスの感染拡大を受けて、延期となりました。その後、7月20日（月）に臨時役員会が開催され、総会は書面会議で実施し、懇親会は開催しないこととなりました。総会（書面会議）は8月3日（月）～8月21日（金）の日程で開始され、全ての議案は満場一致で承認されました。

鹿児島大学同窓会連合会総会・懇親会は、毎年入学式後の最初の土曜日に開催されています。令和2年度の懇親会～卒業生の集い～は残念ながら中止となりましたが、懇親会は卒業生であればどなたでも参加できます。コロナ禍を乗り越え開催された際の皆様のご参加をお待ちしています。



松永洋文会長による乾杯のご発声



工学部あいさつ

平成30年度一般会計決算

(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

歳入総額	16,837,217
歳出総額	9,538,149
差引残高	7,299,068

通帳①:郵貯通常貯金	1,786,564
通帳②:郵貯定額貯金	5,327,135
定額貯金	5,107,135
定額貯金 周年事業準備基金	220,000
現金	185,369
合計	7,299,068

(歳入)

項目	H30予算額	H30決算額	差額(注2)	H30決算の備考
前年度繰越金	7,916,338	7,916,338		(注1)
本年度入学者納付金	8,920,000	7,800,000	-1,120,000	390名×2万円
本年度外国人入学者納付金	60,000	60,000	0	3名×2万円
本年度編入学者納付金	360,000	360,000	0	18名×2万円
本年度博士課程入学者納付金	40,000	40,000	0	2名×2万円
以前の入学者納付金	60,000	500,000	440,000	25名×2万円
以前の編入・外国人・博士納付金	0	60,000	60,000	3名×2万円
小計	17,356,338	16,736,338	-620,000	
会報17号広告代	50,000	90,000	40,000	
預貯金利子	10,000	10,879	879	郵貯普通33、定額貯金10,846
合計	17,416,338	16,837,217	-579,121	

(注1) H30予算額の前年度繰越金7,916,338円=(H29歳入額) 18,238,658円-(H29歳出額) 10,470,713円

(歳出)

項目	H30予算額	H30決算額	差額(注2)	H30決算の備考
〈各部会割当金〉				
機友会	990,000	990,000	0	94/95 編3、博1、前1
錦水会	1,760,000	1,450,000	-310,000	139/161外1、編12、前外1、前編2、前6
AOI会	640,000	520,000	-120,000	44/56 編3、博1、前8
南窓舎密会	870,000	710,000	-160,000	73/85 外2、前4
しらなみ会	490,000	430,000	-60,000	40/49 前6
南翔会	0	0	0	
未納学生の退学・除籍の部会への返金	120,000	120,000	0	機3、錦3、AOI 1、南3、しらなみ2
小計	4,870,000	4,220,000	-650,000	
〈本部運営関連〉				
会長経費	40,000	40,000	0	
庶務経費	40,000	40,000	0	
会計経費	40,000	40,000	0	
編集経費	40,000	40,000	0	
事務員給与	1,030,000	984,509	-45,491	
通信費	60,000	47,219	-12,781	通帳手数料を含む
事務費	200,000	63,517	-136,483	名簿梱包作業バイト代含む
小計	1,450,000	1,255,245	-194,755	
同窓会総会・懇親会費・講演会謝金				
旅費補助				
小計				
会報17号発行費	2,600,000	2,741,453	141,453	製本、郵送代、不明者調査
追録名簿(15号第6版)発行費	650,000	572,958	-77,042	H30年度卒業生
役員会・評議会等運営費	150,000	143,873	-6,127	連合会懇親会費含む
鹿児島大学同窓会連合会分担金	100,000	100,000	0	H30年度分
本部役員出張旅費	100,000	60,000	-40,000	大分県支部総会
大分県支部総会補助金	36,000	36,000	0	2,000円/人
不動産借り受け金	62,640	62,640	0	部屋代
工学部事務助成費	130,000	130,000	0	助成費
学生諸活動助成費	225,000	195,000	-30,000	各学科諸活動、工学部体育祭
小計	4,053,640	4,041,924	-11,716	
工学部創立75周年記念事業関係	50,000	19,438	-30,562	会議費用、口座開設準備金
小計	50,000	19,438	-30,562	
慶弔費	100,000	1,542	-98,458	理学部創設50周年記念式典レタックス
予備費	6,672,698	0	-6,672,698	
小計	6,772,698	1,542	-6,771,156	
合計	17,196,338	9,538,149	-7,658,189	

(注2) 差額はH30決算額-H30予算額 (単位円)

平成30年度の歳入決算額16,837,217円-平成30年度の歳出決算額9,538,149円=7,299,068円を令和元年度へ繰り越す

**平成30年度岩崎基金決算**  
(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

歳入総額	12,888,341
歳出総額	0
差引残高	12,888,341

通帳③ みずほ普通預金	12,888,341
合計	12,888,341

(歳入)

項目	H30予算額	H30決算額
前年度繰越金	12,888,245	12,888,245
みずほ普通預金利息	0	96
合計	12,888,245	12,888,341

(歳出)

項目	H30予算額	H30決算額
合計	0	0

平成30年度の歳入決算額12,888,341円-平成30年度の歳出決算額0円=12,888,341円を令和元年度へ繰り越す

**平成30年度岸園基金決算**  
(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

歳入総額	27,652,356
歳出総額	3,799,567
差引残高	23,852,789

通帳④ 鹿銀普通預金	3,842,624
通帳⑤ 鹿銀定期預金	20,010,165
合計	23,852,789

(歳入)

項目	H30予算額	H30決算額
前年度繰越金	27,650,205	27,650,205
鹿銀普通預金利息	0	21
鹿銀定期預金利息	0	2,130
合計	27,650,205	27,652,356

(歳出)

項目	H30予算額	H30決算額	備考
岸園賞 副賞	250,000	50,000	受賞者1名
司(つかさ)会 補助金	220,000	184,567	会場費、食事代、横断幕代、飲物代
司(つかさ)会 岸園賞受賞者 旅費補助	65,000	65,000	今村氏(関東)、福井氏(鹿児島市) 2名分
諸活動支援金	700,000	500,000	5部会
期成会への寄附金	3,000,000	3,000,000	期成会口座へ
合計	4,235,000	3,799,567	

平成30年度の歳入決算額27,652,356円-平成30年度の歳出決算額3,799,567円=23,852,789円を令和元年度へ繰り越す

令和元年度一般会計決算  
(平成31年4月1日～令和2年3月31日)

歳入総額	15,379,426
歳出総額	6,126,742
差引残高	9,252,684

管理状況	金額	備考
通帳①: 郵貯通常貯金	3,695,513	
通帳②: 郵貯定額貯金	5,440,326	H30年度より新入生からの会費5%程度を通常貯金から定額貯金へ振替え 周年事業準備基金に充てる
定額貯金	5,000,326	
定額貯金 周年事業準備基金	440,000	
現金	116,845	
合計	9,252,684	

(歳入)

項目	R1予算額	R1決算額	差額(注3)	R1決算の備考
前年度繰越金	7,299,068	7,299,068		(注1)
本年度入学者納付金	8,980,000	7,000,000	-1,980,000	350名×2万円
本年度外国人入学者納付金	100,000	100,000	0	5名×2万円
本年度編入学者納付金	360,000	400,000	40,000	20名×2万円
本年度博士課程入学者納付金	40,000	40,000	0	2名×2万円
以前の入学者納付金	20,000	460,000	440,000	23名×2万円
以前の編入・外国人・博士納付金	20,000	80,000	60,000	4名×2万円
小計	16,819,068	15,379,068	-1,440,000	
預貯金利子	10,000	358	-9,642	郵貯普通44、定額貯金314(注2)
合計	16,829,068	15,379,426	-1,449,642	

(注1) R1予算額の前年度繰越金7,299,068円=(H30歳入額)16,837,217円-(H30歳出額)9,538,149円

(注2) 定額貯金満期分利息は通常貯金に振替

(歳出)

項目	R1予算額	R1決算額	差額(注3)	R1決算の備考
(各部会割当金)				
機友会	1,060,000	1,040,000	-20,000	94 / 95 外3、編8、
錦水会	1,670,000	1,030,000	-640,000	123/161 外2、編4、博2、前編2、前4
AOI会	640,000	430,000	-210,000	39 / 57 編4、 前外2、前8
南窓舎密会	880,000	360,000	-520,000	57 / 86 編2、 前3
しらなみ会	520,000	420,000	-100,000	37 / 50 編2、 前8
南翔会	0	0	0	
未納学生の退学・除籍の部会への返金	120,000	120,000	0	機1、錦5、AOI 2、南2、しらなみ2
小計	4,890,000	3,400,000	-1,490,000	
(本部運営関連)				
会長経費	40,000	40,000	0	
庶務経費	40,000	40,000	0	
会計経費	40,000	40,000	0	
編集経費	40,000	40,000	0	
事務員給与	1,030,000	974,209	-55,791	
通信費	60,000	43,319	-16,681	通帳手数料を含む
事務費	150,000	88,619	-61,381	
小計	1,400,000	1,266,147	-133,853	
同窓会総会・懇親会費・講演会謝金				
旅費補助				
小計				
追録名簿(16号第1版)発行費	650,000	525,600	-124,400	R1年度卒業生
役員会・評議会等運営費	150,000	150,512	512	連合会懇親会費含む
鹿児島大学同窓会連合会分担金	100,000	100,000	0	R1年度分
本部役員出張旅費	240,000	240,000	0	大分県支部総会、関東合同同窓会参加旅費
大分県支部総会補助金	48,000	48,000	0	2,000円/人
不動産借り受け金	63,220	63,220	0	部屋代
工学部事務助成費	130,000	130,000	0	助成費
学生諸活動助成費	225,000	165,000	-60,000	各学科諸活動、工学部体育祭
小計	1,606,220	1,422,332	-183,888	
工学部創立75周年記念事業関係	50,000	5,863	-44,137	会議費用、記念誌寄稿文依頼文書発送費
小計	50,000	5,863	-44,137	
慶弔費	100,000	32,400	-67,600	稲盛和夫氏 名誉県民第1号新聞広告代金
予備費	8,782,848	0	-8,782,848	
小計	8,882,848	32,400	-8,850,448	
合計	16,829,068	6,126,742	-10,702,326	

(注3) 差額はR1決算額-R1予算額 (単位円)

令和元年度の歳入決算額15,379,426円-令和元年度の歳出決算額6,126,742円=9,252,684円を令和2年度へ繰り越す

令和元年度岩崎基金決算  
(平成31年4月1日～令和2年3月31日)

歳入総額	12,888,445
歳出総額	0
差引残高	12,888,445

通帳③ みずほ普通預金	12,888,445
合計	12,888,445

(歳入)

項目	R1予算額	R1決算額
前年度繰越金	12,888,341	12,888,341
みずほ普通預金利息	0	104
合計	12,888,341	12,888,445

(歳出)

項目	R1予算額	R1決算額
合計	0	0

令和元年度の歳入決算額12,888,445円-令和元年度の歳出決算額0円=12,888,445円を令和2年度へ繰り越す

令和元年度岸園基金決算  
(平成31年4月1日～令和2年3月31日)

歳入総額	23,854,518
歳出総額	502,476
差引残高	23,352,042

通帳④ 鹿銀普通預金	3,340,178
通帳⑤ 鹿銀定期預金	20,011,864
合計	23,352,042

(歳入)

項目	R1予算額	R1決算額
前年度繰越金	23,852,789	23,852,789
鹿銀普通預金利息	0	30
鹿銀定期預金利息	0	1,699
合計	23,852,789	23,854,518

(歳出)

項目	R1予算額	R1決算額	備考
岸園賞 副賞	250,000	0	受賞者なし
司(つかさ)会 補助金	220,000	162,476	会場費、食事代、横断幕代、飲物代
司(つかさ)会 岸園賞受賞者 旅費補助	60,000	60,000	炭谷氏(東海)
諸活動支援金	700,000	280,000	3部会
合計	1,230,000	502,476	

令和元年度の歳入決算額23,854,518円-令和元年度の歳出決算額502,476円=23,352,042円を令和2年度へ繰り越す

つかさかい  
司会の報告

令和元年8月16日に第8回の司会がジェイドガーデンパレスにて開催されました。会では平成30年度の岸園賞を受賞された炭谷圭二様（機械第二S55卒）への賞状伝達のあと、炭谷様より、ご自身がトヨタ自動車で長年にわたり牽引されてきた自動車の空力開発についてご講話を賜りました。ご講話では参加者43名が熱心に聞き入り、ご講話後には、参加者から質問もあり、炭谷様には丁寧な回答を賜りました。引き続きAOI会の武田敏郎会長（建築S42）の乾杯のご発声で始まった懇親会は、多くの話題が繰り広げられる和やかな時間となり、最後は木下英二工学部長の三本締めにて閉宴となりました。



令和元年度 鹿児島大学工学部同窓会 第8回 司会 令和元年8月16日 於：ジェイドガーデンパレス



令和2年度は新型コロナウイルス感染症のため中止となりました。

## 工学部同窓会大分県支部総会

報告（文責）：重井 徳貴（本部編集幹事）

令和元年6月8日（土）に、令和になって初めての大分支部総会が大分センチュリーホテル（大分市）にて開催されました。第39回を迎える本会には、大石喬支部長（応化S37卒）をはじめ総勢24名の参加者があり、来賓としてしらなみ会から審良善和先生（しらなみ会庶務幹事、海洋土木H11卒）、同窓会本部より重井編集幹事（電気H4年卒）が出席しました。総会では、大石支部長のご挨拶の後、重井より創立75周年記念事業の検討中の計画と工学部同窓会の近況、また審良先生より鹿児島大学の学内の近況について報告がありました。引き続き開催された懇親会は、大石支部長のご発声による乾杯ではじまり、歓談の後、参加者による近況報告がありました。本会には、工学部の卒業生のみならず、鹿児島大学の法文学部、理学部、農学部の卒業生も参加されており、和やかな雰囲気の中、参加者は部会や出身学部、学年の垣根を越えて懇談し、近況報告では会場が一体となり盛り上がりました。万歳三唱で締めとなった懇親会の後も、二次会があり、夜遅くまで盛り上がりました。令和2年度の大分支部総会は残念ながらコロナ禍のため中止となりましたが、令和3年度以降は特別な事情がなければ同様に開催される予定ですので、大分市近郊の皆様は情報交換の場として是非ご参加ください。



第39回 鹿児島大学工学部 同窓会 大分県支部総会 令和元年6月8日 於：大分センチュリーホテル

令和2年度は新型コロナウイルス感染症予防のため中止となりました。

## 鹿大「進取の精神」支援基金

## 令和元年度、2年度報告

大学が提唱し設立した『鹿大「進取の精神」支援基金』への寄附金は、グローバルな視点を有する地域人材育成のため、学生の海外派遣や留学生受入支援、若手研究者の育成、支援を進める目的で使用されています。工学部同窓会を含む各学部同窓会からも寄附を受けており、工学部同窓会は平成29年に300万円を拠金しています。

## —令和元年度事業計画—

## ■学生海外派遣事業 2,100万円

(内訳)

- A. 長期派遣留学（10週間～1年）：390万円（6名）
- B. 中期派遣留学（29日～90日）：495万円（26名）
- C. 地域貢献型海外研修（28日以内）：1,000万円（170名）
- D. 海外活動事前準備教育：185万円
- F. 事業運営費：30万円

## ■留学生受入推進事業 980万円

(内訳)

- A. 研究留学生受入推進プロジェクト：426万（6名）
- B. 協定校学部留学生地域交流推進プロジェクト：182万（2名）
- C. 事業運営費：372万

## ■大学の世界展開力強化事業 1,550万円（新規）

## ■若手研究者支援事業 250万円

- A. 地域貢献型若手教育海外研修支援：250万（2名）

## ■管理経費 120万

## ■鹿児島大学創立70周年記念事業：1,200万円（特殊要因経費）

## —令和2年度事業計画—

## ■学生海外派遣事業 2,680万円

(内訳)

- A. 長期派遣留学（10週間～1年）：500万円（8名）
- B. 中期派遣留学（31日～90日）：845万円（54名）
- C. 地域貢献型海外研修（30日以内）：1,120万円（196名）
- D. 海外活動事前準備教育：185万円
- F. 事業運営費：30万円

## ■留学生受入推進事業 980万円

(内訳)

- A. 研究留学生受入推進：426万円（6名）
- B. 協力校学部留学生地域交流推進プロジェクト：554万円（2名）

## ■大学の世界展開力強化事業 990万円

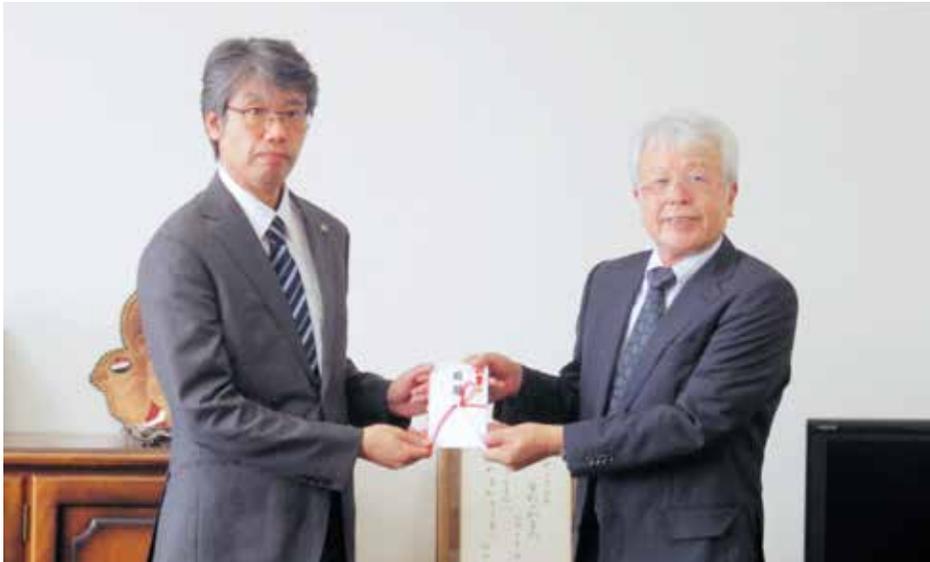
## ■若手研究者支援事業 250万円

## ■管理経費 100万

\*令和2年度事業はコロナ禍による海外渡航・入国制限の影響により、ほとんど実行できない見通しである。

## 新型コロナウイルス感染症対策に伴う工学部への寄付金贈呈

令和2年9月25日（金）に工学部同窓会会長の松永洋文氏が工学部長室を訪れ、鹿児島大学工学部における新型コロナウイルス感染症対策の費用として、寄付金（50万円）を拠金しました。寄付金の受納式が執り行われた後、工学部長木下英二先生と、松永氏をはじめとする工学部同窓会関係者と意見交換が行われ、木下工学部長からは『新型コロナウイルス感染症の感染予防・拡大防止策の財源として活用する』旨のお話をいただきました。（文：山元和哉同窓会会計幹事）



（木下英二工学部長（左）と松永洋文同窓会会長）  
\*式典の前後ではマスクを着用しております



（木下英二工学部長（右から2人目）と工学部同窓会関係者一同）

# 工学部同窓会諸活動支援

## 平成30年度

部 署：機友会

企 画：平成30年度 学生と若手技術者との交流会

(第1部：特別講演、第2部：パネルディスカッション、第3部：懇親会)

活 動 日：平成31年3月5日(火)

活動場所：稲盛会館(105名)、教育学部食堂(43名)

企画内容：主に学部3年生および博士前期課程1年生を対象に、特別講演(2名)およびパネルディスカッション(同窓生の若手技術者6名)を通じて、これから就職活動していく学生へ就職活動の支援を行う。懇親会でも、さらに就職に関する詳細な情報交換できる場を提供する。

成果報告：平成31年3月5日(火)14時から稲盛会館において「学生と若手技術者との交流会」を、主に工学部3年生、4年生および博士前期課程1年生を対象に開催した。第1部では学生就職支援室の榎木氏および機友会関東支部北辰会の太田氏、柿元氏、大宮司氏、堤氏にご講演いただき、第2部では機友会の若手機械技術者6名をパネリストにお招きし、佐藤先生の司会進行の下、パネルディスカッションを実施した。第3部では教育学部食堂において懇親会を行った。今回の開催により、これから就職活動をしていく学生へ就職活動の支援を行うとともに、就職に関する詳細な情報交換できる場を提供できた。講演会、パネルディスカッションおよび懇親会に参加した学生は、先輩の機械技術者としての貴重な経験談を情報収集することにより、今後就職活動を有意義に実施できることが期待できる。  
(池田 徹 教授)

## 令和元年度

部 署：南窓舎密会

企 画：南窓舎密会関東支部による本部支部合同ご当地旧教員を囲む交流会

活 動 日：令和元年6月22日(土)

活動場所：名古屋市(工学部関係者40名)

企画内容：南窓舎密会東海支部による鹿児島本部および他支部も参加できる新しい企画で、かつて鹿児島大学で教鞭をとり、南窓舎密会の会員でもあった旧教員で、東海地区近隣で現役にてご活躍の方々を招いて、当時の様子から最近のご活躍までを紹介してもらう。本部や他支部からも参加して、質・量ともに更に豊かなものになっている。集まった同窓生と旧交を温め、情報を交換してもらうことを目的とするものである。

成果報告：南窓舎密会東海支部による鹿児島本部および他支部も参加できる新しい企画で、かつて鹿児島大学で教鞭をとり、南窓舎密会の会員であった旧教員で、東海地区近隣、名工大や京都工繊大で現役にてご活躍の方々や、関東企業での活躍者等を招いて、同窓生と旧交を温め、情報交換をしてもらった。

本会をきっかけに交流が深まることを期待して希望者から事前に“情報掲示板”と称する自己紹介資料を募集し、当日全員に配布した。旅行、写真を楽しんでいる方はその仲間の募集が、また仕事内容を紹介し一緒に仕事ができないか？等、期待以上の反応が得られた。返信が16名からあった。

通常の総会だと参加者が限られるが、他支部からの参加があると年齢層もより広がるなど、十分な手ごたえが得られた。東海支部外からの9名の参加者により、「卒業以来2,30年ぶりに再会できた！」と昔話にまた仕事の展開にと花が咲いていた。今後が楽しみである。

(満塩 勝 助教)  
みつしお まさる



部 署：A O I 会

企 画：A O I 会 建築ナビ「先輩と進路・就職を語る会」

活 動 日：令和元年9月28日（土）

活動場所：鹿児島大学工学部 稲盛会館（150名）

企画内容：第一線で活躍されている卒業生3名をお迎えし、社会的経験、人生観等後輩に伝えたい事を講演して頂くとともに、在学生と先輩との情報交換を目的とする。

成果報告：社会の最前線で活躍されている本学科の卒業生を招き「後輩へ伝えたい事」というテーマで講演していただいた。

学生達にとって、卒業生による講演は親近感が湧くと共にリアルな未来像が想像でき、大変興味深く拝聴しているようであった。また、今回講演いただいた3名の先輩方の分野は多岐にわたっており、社会的経験やそこで培われた仕事感や人生感を語っていただき、更に学生時代に行っておくべき事柄についても助言いただき、学生達にとって、非常に有意義な指針を得る機会となった。

(増留 麻紀子 助教)  
ますどめ まきこ



部 署：錦水会

企 画：学生向け講演会「きばっど会」

活 動 日：令和元年10月26日（土）

活動場所：工学部情報生体システム工学科棟71号講義室（110名）

企画内容：主に学部3年生と修士1年生を対象とした、卒業生による講演会である。講師として卒業生2名に依頼し、就職や進学を控えた学生に対して、社会人としての心構え、学生時代に取り組んでおくべき事項、社会に出てからの経験などについての話をしてもらう。他学年や他学科の学生も聴講可能である。

成果報告：講師として卒業生2名を招き、就職活動を控えた学部3年生および修士1年生を主な対象として、学生向け講演会「きばっど会」を開催した。講師は、河野秀樹氏（情報工学専攻H8修了、京セラコミュニケーションシステム株式会社技術総括部IT技術部 責任者）と羽生大仁氏（電気電子H23年3月修了、東芝エネルギーシステム株式会社 原子力事業部）に依頼した。河野氏はシステムエンジニアとは何をするのかを踏まえ学生時代の過ごし方の話を、羽生氏は若い視点から学生生活と社会人との違いを講演し、いずれも学生にとっては大変有意義で実りの多いものとなった。講演会終了後は懇親会も開催され、学生には補助金を出して招待し、講師と学生および卒業生との間の懇親を深めることができた。  
(<sup>ふくだ</sup> <sup>たかやす</sup> 渕田 孝康 准教授)



## 令和2年度

部 署：本部

企 画：工学部創立75周年記念事業に関する部会支援の成果報告書

成果報告：創立75周年記念事業は、新型コロナウイルス感染症により、やむなく中止、あるいは実施縮小を余儀なくされる事業がでるなどの予定変更が生じたが、各部会では工学部75周年記念事業を盛り上げるための記念誌作成や記念式典・講演会への参加者動員などの支援活動を可能な範囲で実施することができた。

(<sup>さこう</sup> <sup>かずなり</sup> 酒匂 一成 教授)

# 工学部同窓会学生諸活動助成報告

各学科の学生会員が企画する催し物および工学部体育祭を助成しています。

## 平成30年度

学 科：機械工学科

企 画：平成30年度機械工学科卒業・機械工学専攻修了記念パーティー

活 動 日：平成31年3月22日（金）

活動場所：ジェイドガーデンパレス（140名）

事業報告：卒業記念パーティーを通して卒業生、修了生の最後の思い出を作ることができた。また、お世話になった先生方へ感謝を伝える場にもなった。本事業によって皆の思い出に残るような年度末最後のイベントとなった。  
(瀧本<sup>たきもと</sup> 岳<sup>がく</sup>)



## 令和元年度

学 科：環境化学プロセス工学科

企 画：環境化学プロセス工学科・化学生命工学科ソフトボール大会

活 動 日：令和元年6月8日（土）

活動場所：鹿児島大学教育学部球技場（50名）

事業報告：今年も雨に妨げられることなく開催することができました。今回は5チームと多かったため、リーグ戦を行い3位まで順位付けを行いました。目的としていた研究室内はもちろん、他学科との交流もでき、非常に有意義な時間を過ごすことができました。助成金は開催するにあたりとても助けになりました。

(中路<sup>なかじ</sup> 仁也<sup>まさや</sup>)



学 科：海洋土木工学科

企 画：研究室配属、進学・就職相談会

活 動 日：令和元年10月16日（水）

活動場所：海洋土木工学科棟 2階 アクティブラーニング室（90名）

事業報告：昨年度と同様に本学科では、学部3年生の研究室配属前に、各研究室の研究や雰囲気に関して在学生から直接、聞く機会として本企画を開催した。講義の一環として研究室紹介は行われているが、研究室の様子を一方向的に伝える形となっており、3年生の持つ疑問に関して答えられていない状況であった。そこで昨年度と同様に、学部3年生の研究室配属前に在学生が4年生での学生生活のことや研究室でのスケジュールの説明、研究室在学生ともに親睦を深めること、就職活動の情報を把握すること等を目標に本企画を開催した。今年度も、研究室毎にブースを設置し、研究室について説明を行った。また、大学院進学や就職に関する相談も行った。進学や就職の情報が現実とは乖離や欠如しており、学部3年生にとっては、正確な情報を得られる貴重な機会となった。1年間或いは数年に過ごす研究室選択ミスの低下、後悔のない研究室選択に貢献することができた。

（中島 亮輔<sup>なかじま りょうすけ</sup>）



学 科：電気電子工学科

企 画：第50回電気電子工学科バドミントン大会

活 動 日：令和元年11月9日（土）

活動場所：教育学部第2体育館（42名）

事業報告：助成金をいただいたおかげで備品を揃えることができました。快適な環境で活動を行うことができました。学生同士や教員とコミュニケーションをとりあえる貴重な機会になりました。

（木元 佑太朗<sup>きもと ゆうたろう</sup>）



学 科：化学生命工学科

企 画：秋季環境化学プロセス・化学生命工学 ソフトボール大会

活 動 日：令和元年11月9日（土）

活動場所：鹿児島大学教育学部グラウンド（60名）

事業報告：5つの研究室が参加しました。午前中に5チームで順位付を行い、午後から鹿児島大学OBのチームも参加し、5位、3位、1位を決める決定戦を行いました。参加者全員が怪我することなく一生懸命取り組み、とても良いソフトボール大会になりました。参加者全員の協力のおかげでスムーズに素晴らしい大会になりました。  
もとしま ゆうすけ  
 （元島 悠輔）



学 科：建築学科

企 画：建築学科1年生 懇親会

活 動 日：令和元年11月12日（火）

活動場所：学習交流プラザ（87名）

事業報告：建築学科1年生と教員、大学院1年生との親睦会。自己紹介、学科の志望動機、入学から半年が経ち新たな疑問や悩みについて、グループに分かれてフリートークを行った。その後各グループが全体に発表した。  
(原<sup>はら</sup> 瑞穂<sup>みずほ</sup>)



## 工学部体育祭

令和元年11月23日開催 教育学部第2体育館（130名）

約100人の鹿大生が集まりバスケットボール大会を行った。目立ったけがもなく、全力でプレーする姿が印象的だった。学部1年生から大学院2年生まで幅広く、そして多くの参加者を集められたので、来年の開催にも期待したい。

運営としてもトラブルがなく体育祭を終えられたので全体的に成功したと思う。

(藤本<sup>ふじもと</sup> 悠人<sup>ゆうと</sup>)



令和2年度は新型コロナウイルス感染症のため中止。

# 鹿児島大学工学部同窓会会則

(名称)

第1条 本会は鹿児島大学工学部同窓会と称する。

(目的)

第2条 本会は会員相互の親睦と母校の発展をはかり、主として科学技術を通じて社会に貢献することを目的とする。

(事業)

第3条 本会はその目的を達成するため、次の事業を行う。

- 1、会員名簿の発行
- 2、会報の発行
- 3、工学部助成
- 4、その他、本会の目的を達成するために必要な事業

(組織)

第4条 本会は次の会員で組織する。

- 1、正会員：鹿児島県立工業専門学校、鹿児島県立大学工学部および鹿児島大学工学部卒業生および在学生、ならびに同専攻科および同大学院工学研究科および理工学研究科（工学系）修了生および在学生
- 2、特別会員：鹿児島大学工学部教官・教員、ならびに鹿児島県立工業専門学校、鹿児島県立大学工学部および鹿児島大学工学部の教官・教員であったもの、その他評議会で承認されたもの
- 3、名誉会員：総会の決議により推薦されたもの

第5条 本会は本部を鹿児島大学工学部内におく。

第6条 本会に学科別会員をもって組織された各部会をおく。部会の組織については細則にこれを定める。

(役員)

第7条 本会には次の役員をおく。

本部役員として会長1名、副会長5名、顧問1名、評議員 各部会毎に10名以内、幹事3名、監事2名をおく。評議会が必要と認めた場合、名誉役員として名誉顧問を若干名おくことができる。

第8条 本部役員および名誉役員の任期は3年とする。ただし会長は2期までとし、その他の役員は再任をさまたげない。

第9条 顧問は工学部長とし、評議員は各部会より推薦する。会長、副会長、幹事、監事は評議会において選出する。名誉顧問は評議会において推薦する。

(運営)

第10条 会長は本会を代表し会務を総理し、評議会の議長となりその決議を執行する。副会長は会長を補佐し、会長に事故ある時はこれを代行する。本部役員は評議会を構成し会務を審議する。幹事は会務を処理する。監事は会務全般の監査を行う。名誉顧問は評議会の諮問に応じ、会務の執行に対して意見を述べることができる。

第11条 会長は3年毎に総会を開き会務を報告する。ただし収支決算は毎年各部に報告する。

(会計)

第12条 会員は終身会費を納付しなければならない。ただし、特別会員および名誉会員はこの限りではない。

第13条 本会の運営に必要な経費は終身会費および雑収入をもってこれに充てる。

第14条 本会の会計年度は毎年4月1日に始まり翌年3月31日に終わる。

(会則変更)

第15条 本会の会則の変更は評議員総数の2/3以上の賛成を得た議案に対し、総会に諮ってこれを改正する。

(附則)

本会則は平成18年3月18日より施行する。

## 細則

(事業)

第1条 会員名簿の発行は5年ごととし、会報は原則として年1回発行する。会報は、卒業生に関しては会費納入者のみに配布する。

(役員)

第2条 幹事は庶務、会計および編集等を分担する。

(部会)

第3条 部会は会員の希望により2学科以上をもって部会を組織することもできる。

第4条 部会は本会則の趣旨に沿ってそれぞれの会則を定めて運営し、その状況を適宜会長に報告する。

第5条 部会は必要に応じて各地区に部会支部をおく。ただし、支部会員の希望により部会支部は合同して同窓会支部を組織することができる。

(会計)

第6条 終身会費は入学時に20,000円とする。

第7条 会費の一部は入学定員により各部に按分され、部会独自の事業を行う。

昭和29年3月1日制定 (鹿児島工学会)

昭和33年3月5日改正 (鹿児島大学工学部同窓会規約)

昭和41年8月28日改正 (鹿児島大学工学部同窓会会則)

昭和48年9月1日改正

平成9年2月21日改正

平成18年3月18日改正

平成27年3月7日改正

平成29年8月18日改正

平成30年8月17日改正

# 編集後記

## 本部編集幹事・重井 徳貴

ここに工学部同窓会会報「南桜風」第19号をお届けいたします。

昨年度は工学部同窓会名簿第16号の発行に伴い休刊のため、本号には令和元年度・2年度の情報を掲載しています。新型コロナウイルス感染症のため、多くの行事が中止となりましたが、コロナ禍前の行事を中心に、誌面を割いて数多く紹介していますので、ご覧いただき同窓会の絆を感じていただけましたら幸いです。

工学部では工学部創立75周年記念事業として、令和3年度に入ってから、75周年記念誌の発行、工学研究・海外派遣等助成が実施されます。主要事業である工学部研究・海外派遣等助成については、毎年度の助成内容を本会報「南桜風」に掲載し、会員の皆様に報告することになっています。75周年記念誌に関しては、同窓会からは、恩師を含む会員の皆様と各部会のご協力を仰ぎ、同窓会のあゆみ、旧教員と卒業生からの75周年に寄せた寄稿文を掲載することで準備をすすめています。75周年記念事業へ一定口数以上募金いただいた方へは記念誌を謹呈することになっていますので、是非ご入手いただき、ご覧いただけましたら幸いです。

私事になりますが、今年度を最後に、本部編集幹事を退くことになりました。その間、会報第18・19号、名簿第16号の発行、75周年記念誌の同窓会からのご寄稿では、現旧教員を含む会員の皆様、各部会の編集幹事をはじめ役員の皆様に多大なお力添えを頂きましたことを深く感謝いたします。

皆様方の益々のご発展とご健勝をお祈り申し上げます。

## 機友会編集副幹事・松崎 健一郎

初めて南桜風の編集作業を担当しました。編集幹事の不手際で部会だよりの執筆依頼が遅くなりましたが、支部役員の皆様には迅速に対応していただき、無事入稿することができました。この場を借りてお礼申し上げます。コロナ禍のため令和2年度の行事はほとんど中止となってしまいました。行事予定につきましてはホームページ (<http://www.mech.kagoshima-u.ac.jp/~kiyukai/index.htm>) にて情報発信してまいりますので、ご確認いただければ幸いです。

## 錦水会編集幹事・鹿嶋 雅之

今年度は多くの支部がコロナ禍で支部総会が中止となったのにも関わらず、部会だよりでは例年以上の記事をお送りいただき、ありがとうございます。また、各支部の皆様も、変わらず活発にご活動されていらっしゃるようで私も大変励みになりました。

## AOI会編集幹事・増留 麻紀子

ご多忙中にも関わらず、寄稿いただきました皆様に心より感謝申し上げます。また、建築学科1期生、鳥先輩へインタビューする機会を頂きました事、重ねてお礼申し上げます。2020年度、建築学科のホームページがリニューアル致しました。学科の概要の充実、新入試内容の更新、更に、各研究室の活動もトップページに掲載しております。また、AOI会ホームページも合わせて更新致しましたので、ぜひ、ご覧ください。

## 南窓舎密会編集幹事・橋口 周平

編集幹事をお引き受けて2回目の編集作業でしたが、前回に引き続き皆様のご協力のおかげで無事入稿することができました。また、ご多忙中にも関わらずご寄稿いただきました皆様に御礼申し上げます。

## しらなみ会編集幹事・小池 賢太郎

会報を作成するにあたり、しらなみ会本部および各支部の担当者の皆様、OB・OGの方々には多忙な時期に原稿を執筆頂き、ありがとうございます。

2年ぶりの発刊となりましたが、その間の社会情勢はめまぐるしく変わり、特に今年は新型コロナウイルスの影響による、ソーシャルディスタンスの徹底、リモートワークの普及等々…今まさに時代の転換期に立ち会っているかのように思えます。私生活、仕事は勿論ですが、同窓会活動も同じく制限されており、まだまだ新型コロナウイルスの脅威が続くなか、これからの同窓会活動の在り方を考える1年となりました。

THE NEW VALUE FRONTIER



自分を磨く仲間が集えば、想像を超えていける。



ひとりひとりの歌声が、個性を輝かせて素晴らしいハーモニーを奏でるように  
技術もまた重なりあって、かつてない価値を生み出していきます。

みんなが夢と理想を描き、実現をめざしてひたむきに努力する。その力をひとつに  
あらゆるフィールドで想像を超える世界へ。京セラは、挑戦しつづけます。

**かなえたい未来へ。京セラ**



# 株式会社 ハマテックス

鹿児島県知事許可(特-1)第1771号



代表取締役 濱園 誠 (海士 平成13年卒)

〒891-0131 鹿児島市谷山港1丁目3-34

TEL : 099-261-8400/FAX : 099-262-1022

Eメール : [contact@hamts.jp](mailto:contact@hamts.jp)

HP : <http://hamts.jp>

- 建築塗装工事
- 防水工事
- 外壁調査・改修工事
- 鋼構造物塗装工事
- コンクリート構造物改修工事

## 会報「南桜風」の郵送が不要の方へのお知らせ

会報は会員の方で住所が判明しているすべての方へ無償で配布しておりますが、皆様のご希望により“郵送は不要”とお申し出された方には次号より郵送を中止とさせていただきます。下記の書式にてFAX・メールでお知らせください。\*メール・FAXでの連絡内容

会報の郵送不要：氏名・住所・卒年・学科

メールアドレス変更のお知らせ (同窓会事務局のアドレスが変わりました。)

\*新メールアドレス：[kadai.eng.dousoukai@gmail.com](mailto:kadai.eng.dousoukai@gmail.com)

電話 / FAX : 099 (285) 3494

なお、メール・FAXで送れない方は電話にてお知らせください。(FAX番号と同様)

ただし今回メール・FAX・電話にて連絡された方であっても、数年後に郵送の再開を希望される場合はご連絡いただきますと送付いたします。

なお、郵送不要と連絡済みの方にも郵送された場合は、お許しいただきますとともに改めてお知らせいただければ幸甚に存じます。

## 住所変更の連絡のお願い

現住所が変更になられた際は同窓会にもご連絡ください。同窓会のHP「異動の連絡」あるいは電話・FAXにてお知らせください。同窓会より名簿発行などのお知らせをいたします。

表紙写真：2020年11月1日 ドローンにて撮影 左下の扇形の建物は稲盛会館



# 鹿児島大学工学部同窓会における個人情報に関する基本方針

## プライバシーポリシー

新たに皆様から頂く個人情報及び従来から本会で保有しております個人情報につきましては、個人情報保護法に従い下記のように取り扱います。

### 1. 個人情報の収集・利用目的

本会では以下の情報を収集いたします。

①名前、②自宅住所、③電話番号、④勤務先、⑤勤務先電話番号、⑥電子メール

### 2. 個人情報の利用目的

収集した情報は次に掲げる目的で利用いたします。

- (1) 卒業生データの作成・管理を目的とするもの
- (2) 総会等運営のために必要な文書等の送付を目的とするもの
- (3) 会報、名簿および各種お知らせ等の送付を目的とするもの
- (4) 大学への情報提供を目的とするもの

### 3. 委託先および第三者提供先

この文書に定める利用目的に関連して、機密保持契約を締結した委託先に会員等の個人情報を提供する場合は、適格性を十分に審査し、本会が求める個人情報保護体制を維持できるように管理・監督いたします。

### 4. 安全管理措置

本会は、この文書で定める事項に適用するように収集した個人情報を安全に取り扱い、不正アクセス、紛失、改ざんまたは遺漏が生じないよう適切な措置を講じます。

### 5. 個人情報の開示・訂正・利用の停止等の申し出先

本人が当該本人に関する個人情報の開示・訂正・追加・利用停止の請求ならびに個人情報の取り扱いに関する問い合わせを行う場合の連絡先は以下の通りです。

鹿児島大学工学部同窓会事務局

〒890-0065 鹿児島市郡元一丁目21-40

T E L 099-285-3494

F A X 099-285-3494

同窓会事務局開局日：月・水・金（10時～17時）



なんおうふう  
会報「南桜風」を同窓会ホームページに掲載しています

工学部同窓会では会報「南桜風」を発行し、大学の近況や学科の様子、各部会の活動状況、新卒者の就職・進路先などを紹介しております。また、創刊号からの会報をホームページ（HP）にも掲載し多くの会員の皆様へご覧いただけるようにしました。どうぞご覧ください。

工学部同窓会ホームページ <https://kadai-eng-dousou.sakura.ne.jp>

★会報は、住所が判明している会員の皆様へ無償で配布しております。

